

**Joie™**

**ECE R129 適合**

適応身長 40cm から 145cm まで

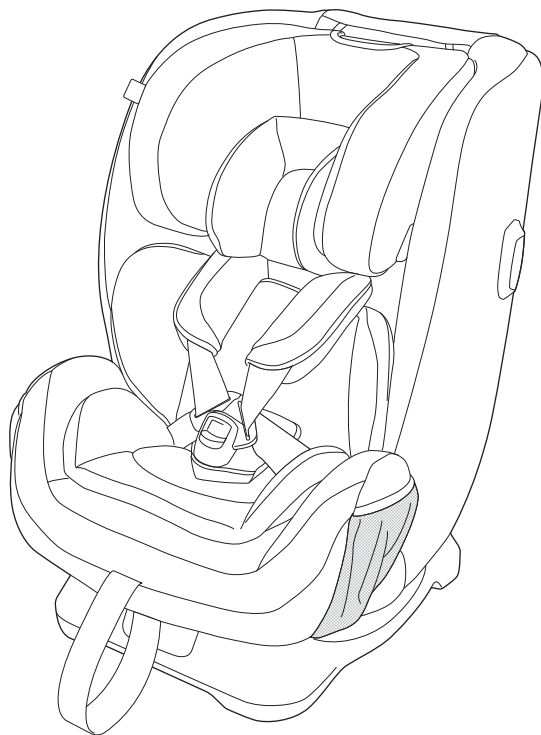
適応体重 36kg まで

ジョイー・チャイルドシート

**every stage™ R129**

エブリステージR129

**取扱説明書 / 保証書**

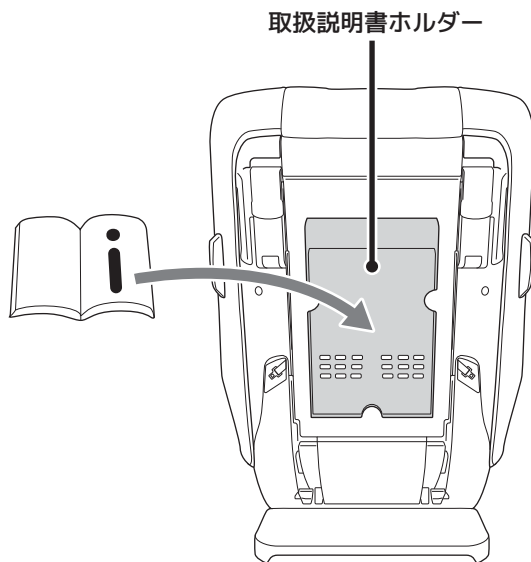


# JP Welcome to Joie™

ジョイーチャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は、自動車の座席に設置して使用するチャイルドシートです。

本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品背面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



# もくじ

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
チャイルドシートについて	4
使用に関するアドバイス	4
自動車との適合について	5
本製品の重要な情報	5
表記の説明	6
内容物の確認	7
各部の名称	8
使用できるお子さまの条件	10
自動車の座席への取り付けに関して	13
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	13
取り付け、使用できない座席	14
シートベルトの種類	17
使用上の注意事項	18
緊急時の操作	28
基本的な使いかた	29
バックルの使いかた	29
ハーネスの長さ調節	31
ヘッドサポート（肩ベルト・肩ベルトガイド）の高さ調節	33
インファントインサート	35
リクライニング機構	39
サイドインパクトプロテクション	42
自動車の座席への取り付け、設置	45
後ろ向きモードでの使用	45
前向きモードでの使用	54
お子さまの乗せかた	62
後ろ向きモードの乗せかた	62
前向きモードの乗せかた	68
お手入れのしかた	77
インファントインサート、パッド類、カバー類の取り外し	77
インファントインサート、パッド類、カバー類の取り付け	86
縫製品のお手入れ	86
シエル、ベースのお手入れ	88
保管のしかた	90
廃棄のしかた	90
保証書	91

## はじめにお読みください

### ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内での使用が認められている UN/ECE 規則のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

### チャイルドシートについて

チャイルドシートは、適切に使用することにより、**万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。**

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、チャイルドシートにおいて規定される条件に、適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

### 使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも 1 時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や緊急事態時には、直ちに応急処置を行い、医療機関にご相談ください。

## 自動車との適合について

本製品はECE R129/03 規格に適合したチャイルドシートです。

本製品は自動車の3点式シートベルトが装備された座席で使用できる製品となりますが、すべての車両、座席に取り付け可能とは限りません。

本製品を使用することができる車種、座席は弊社の発行する「車種適合一覧」に記載されています。

車種適合一覧は適宜更新されていますので、以下のホームページよりご確認ください。

カトージ ホームページ

[katoji.co.jp](http://katoji.co.jp)

### ⚠危険

**適合車種一覧において取り付け、使用不可とされている座席では使用しないこと**  
 本製品は、すべての車種、座席で使用できるとは限りません。適合車種一覧において取り付け、使用不可とされている座席では本製品が安全に機能しないおそれがありますので取り付け、使用しないでください。

また、適合確認されている車種においても座席位置によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。

## 本製品の重要な情報

### ●後ろ向き使用時

本製品は汎用ベルト固定改良型年少者用補助乗車装置です。本製品の適合する基準 ECE R129 によって、主として「ユニバーサル・シートポジション」と自動車の取扱説明書において指定されている座席での使用が可能です。(すべての車両、座席で取り付けが可能とは限りませんので、必ず適合車種一覧をご確認ください)

ご不明点がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。

### ●前向き使用時

本製品は i-Size ブースターシート改良型年少者用補助乗車装置です。本製品の適合する基準 ECE R129 によって、主として「i-Size・シートポジション」と自動車の取扱説明書において指定されている座席での使用が可能です。(すべての車両、座席で使用が可能とは限りませんので、必ず適合車種一覧をご確認ください)

ご不明点がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。




主な原材料	樹脂・金属・繊維
パテント番号	特許出願中

## 表記の説明



本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。


### 危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 <b>危険</b>	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 <b>警告</b>	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 <b>注意</b>	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

### その他の表記について

表記	表記の内容
 <b>ポイント!</b>	この表記に付随して記載されている事項は本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また本製品をより便利に使用していただくための大切な情報ですので必ずご確認ください。

## 本取扱説明書で使用するイラストについて

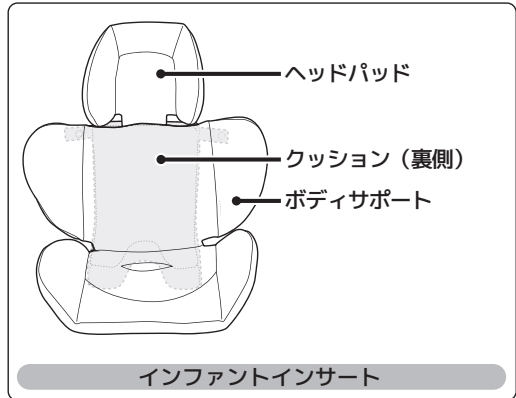
本取扱説明書で使用しているイラストはより理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

## 内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



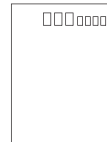
※開封時、本体にすべて取り付けられています



サイドインパクトプロテクション



本書



ユーザー登録はがき

## 警告

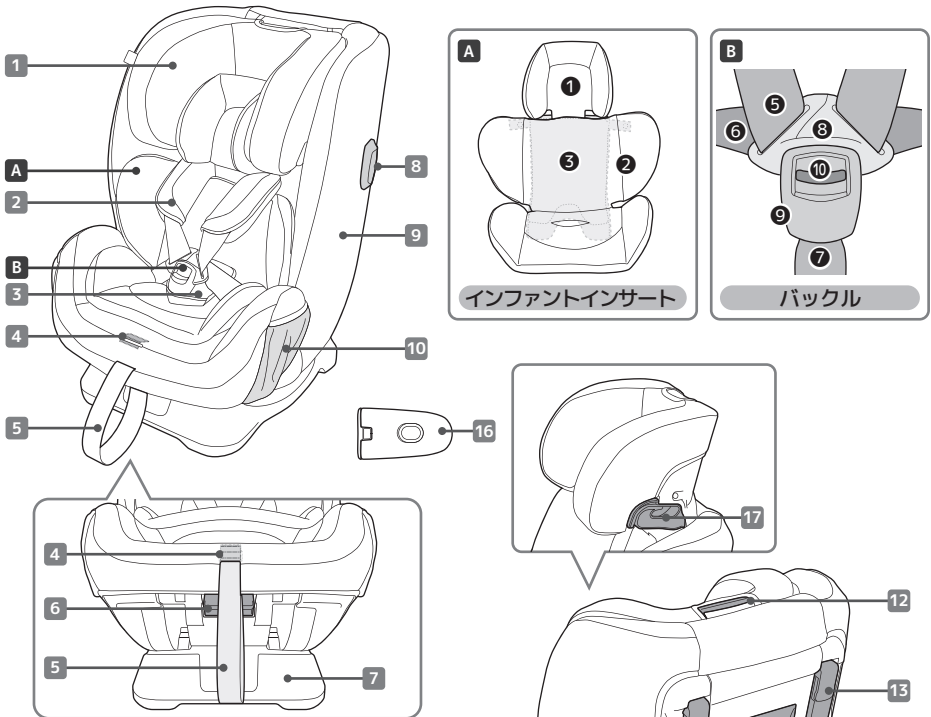
### 窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので本製品を梱包しているビニール袋類は、開梱後直ちに破るなどした上でお子さまの手の届かないところに廃棄してください。

## 各部の名称

### 本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して必要に応じてご確認ください。



- 1 ヘッドサポート
- 2 肩ベルトパッド
- 3 股ベルトパッド
- 4 ベルトアジャスター  
※外側からは見えません
- 5 アジャスターベルト
- 6 リクライニングレバー
- 7 ベース
- 8 サイドインパクトプロテクションスロット
- 9 シェル
- 10 マルチポケット
- 11 腰ベルトパス
- 12 ヘッドサポートアジャストレバー
- 13 ロックオフデバイス
- 14 取扱説明書ホルダー
- 15 肩ベルトパス
- 16 サイドインパクトプロテクション※  
※シェルのドア側にのみ取付可能です
- 17 肩ベルトガイド

#### A インファントインサート

- ①ヘッドパッド
- ②ボディサポート
- ③クッション（裏側）

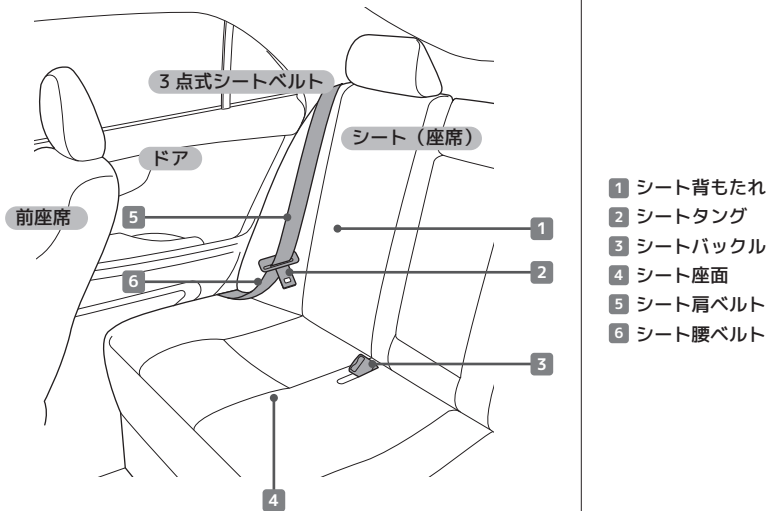
#### B バックル/ハーネス

- ⑤肩ベルト } ハーネス
- ⑥腰ベルト }
- ⑦股ベルト
- ⑧差込みタンク
- ⑨受けバックル
- ⑩バックルリリースボタン



## 自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



### 👉 ポイント！

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて上図を参照してお車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

## 使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。



本製品は2種類のモードで使用することができますが、使用するモードにより使用できるお子さまの条件が異なります。いずれのモードでも自動車の3点式シートベルトを使用しますが、使用するモードによって本製品を使用する向き（後ろ向き、または前向き）、使用方法、調節方法が異なります。それぞれ適切な状態にしてご使用ください。

### ●後ろ向きモード

- ・ お子さまの身長 40cm ~ 105cm / 体重 2.5kg<sup>※</sup> ~ 22kg まで
  - ・ 本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きに取り付けて使用します。
  - ・ お子さまは本製品のハーネス、股ベルトを装着します。
- ※ 後ろ向きモードは、新生児期から使用可能ですが、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまが対象です。

### ●前向きモード（ブースター）

- ・ お子さまの身長 100cm ~ 145cm / 体重 15kg ~ 36kg まで
- ・ 本製品を自動車の進行方向に対して前向きに設置して使用します。
- ・ お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着します。

モード	お子さまの条件	リクライニング	お子さまの固定	インファントインサート
 <p><b>後ろ向きモード</b></p>	<p>身長40cm~105cm かつ 体重2.5kg~22kgまで 目安年齢<sup>※1</sup> 新生児<sup>※2</sup>~4歳頃まで</p>	<p><b>ポジション 5,6 が使用可能</b></p>	<p>本製品のハーネス</p>	<p>お子さまの身長が60cmになるまでの間はすべてのインファントインサートを取り付けての使用を推奨します。 お子さまの成長、体格により窮屈になった場合はP12「インファントインサートの使用」を参照して調節または取り外して使用してください。</p>
 <p><b>前向きモード</b></p>	<p>身長100cm~145cm かつ 体重15kg~36kgまで 目安年齢<sup>※1</sup> 3歳~12歳頃まで</p>	<p><b>ポジション 1,2,3,4 が使用可能</b></p>	<p>3点式シートベルト ハーネスは本体内に収納</p>	<p>前向きモードでは使用できません。 インファントインサートをすべて取り外してください。</p>

※ 1. 目安年齢はあくまでも目安です。身長および体重で使用できるお子さまの条件をご確認ください。

※ 2. ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

**身長 100cm を超えるまでは前向きモードでは絶対に使用しないこと**

お子さまの身長が 100cm を超えるまでは、本製品を後ろ向きモードで使用してください。前向きモードで使用すると大変に危険です。

**リクライニングを正しく調節すること**

本製品では、リクライニング機構によりシエルの角度を変更することができます。後ろ向き、前向きにより使用できるシエルの角度が異なります。誤った角度で使用すると大変に危険ですので以下を参照して本製品を使用するモードに応じて正しく調節してください。

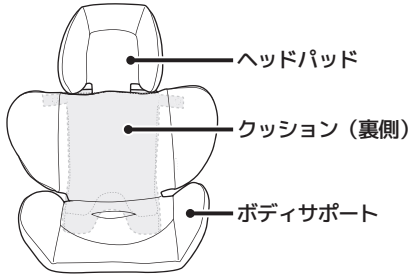
参照 P39-42 ▶リクライニング機構

## インファントインサートの使用

より快適に安全にご使用いただくため、本製品には後ろ向きモードで使用するインファントインサートが付属しています。インファントインサートはお子さまの成長や着衣の状態に合わせて着脱、調節して使用します。インファントインサートは側面からの衝撃の安全性が高まるように設計されています。下記を参照してインファントインサートを着脱し、調節してご使用ください。

### ●身長60cmまで

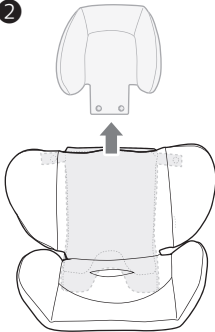
①



お子さまの身長が60cmになるまでの間はすべてのインファントインサートを取り付けての使用を推奨します。お子さまの成長、体格により窮屈になった場合はインファントインサートを調節または取り外して使用してください。

### ●身長60cmを超えてから

②



頭部が窮屈な状態になったらヘッドパッドを取り外してボディサポート（クッション）のみで使用してください。

③



身体が窮屈な状態になったらクッション（背部）を取り外して、ボディサポートのみの状態で使用することができます。

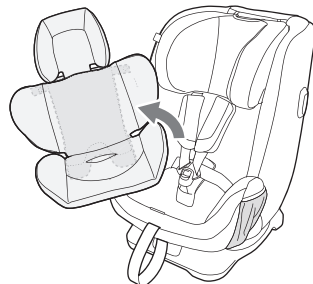
④



身体が窮屈な状態になったらクッション（座部）を取り外して、ボディサポートのみの状態で使用することができます。

⑤

前向きモードにして使用する場合または身体が窮屈な状態になったらすべてのインファントインサートを取り外してください。



## 自動車の座席への取り付けに関して

本製品は自動車の座席に装備された3点式シートベルトを使用します。

後ろ向きモードの場合は自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シートポジション」と指定されている座席で使用することができます。

前向きモードの場合は自動車の取扱説明書において「i-Size・シートポジション」と指定されている座席で使用することができます。

いずれのモードでも条件によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。

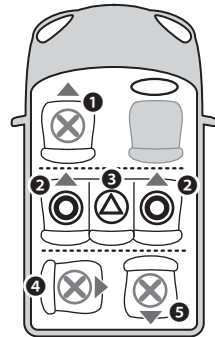
本製品を取り付け、使用可能な自動車と座席の情報については適合車種一覧を参照してください。

参照 P5 ▶自動車との適合について

### 取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 ..... 取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席 ..... 取付使用可能
- ③ 後列中央席 ..... 条件付使用可
- ④ 進行方向横向きの座席 ..... 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 ..... 取付使用不可
- ⑥ 3列目以降の座席 ..... 条件付使用可

③および⑥については、3点式シートベルトを装備している場合は取り付け、使用できる可能性があります。ただし3点式シートベルトを装備していても補助席の場合や座席の幅、長さ、シートバックルの位置などの条件によっては取り付け、使用ができない場合があります。



### ⚠危険

#### 取り付け、使用の条件を守ること

上記のシート（座席）すべてに取り付け、使用可能とは限りません。

上記は座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用することができます。

## 取り付け、使用できない座席

本製品は、すべての自動車のすべてのシート（座席）で使用できるものではありません。本製品を使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

### ⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

#### フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用しないでください。特に後ろ向きモードでの使用時には非常に危険です。

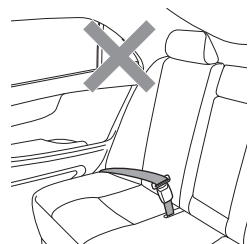
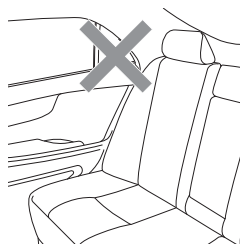
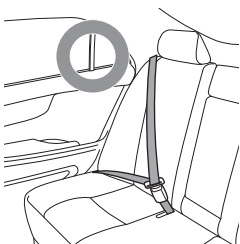


#### 助手席

助手席には本製品を設置して使用しないでください。本製品はより安全な後部座席でご使用ください。

#### 3点式シートベルト以外の座席

本製品は3点式シートベルトが装備された座席でのみ使用可能です。座席シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。必ず3点式シートベルトが装備された座席で使用してください。

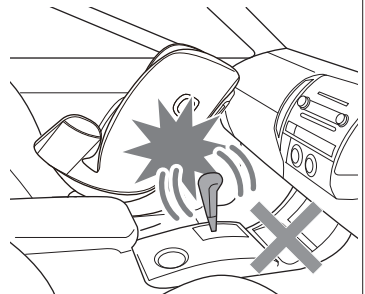


#### 適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（適合車種でもすべての座席で使用可能とは限りません）では使用できません。

#### 本製品の設置により、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を設置して使用することにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。また実際にご使用になる前に非常時や緊急時を想定して、本製品の設置によって自動車の重要な操作に影響をおよぼさないことを確認してください。

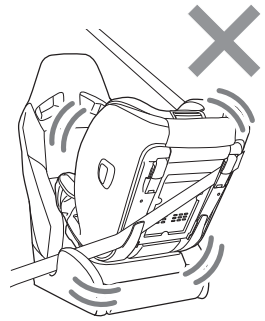


## ⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 本製品を安定して設置できない座席

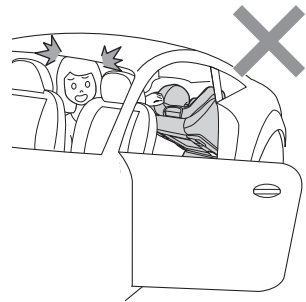
極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、座面が極端に傾斜した座席、本製品を設置するとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、座席の可動操作に干渉する場合、本製品のベースが浮く極端な座面角度の座席では、本製品が安定しないため取り付け、使用しないでください。また適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。



### 乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席には設置しないでください。

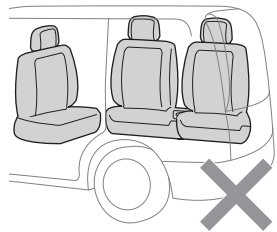
実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態ですべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかをあらかじめ確認してください。



### 進行方向に対して前向き以外の座席

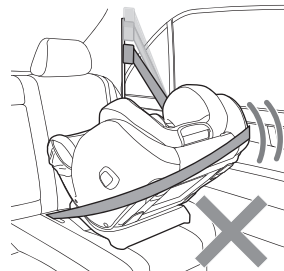
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席でのみ使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席やバス、電車、飛行機、船などの座席でも使用できません。



### パッシブシートベルトが装備された座席

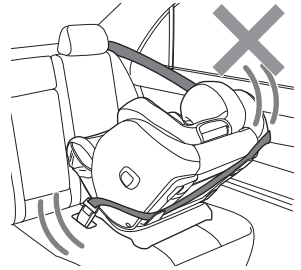
ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では本製品を使用できません。



**⚠危険**

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

その他、安定しない座席や取り付け作業中に動く座席取扱説明書に従ってもしっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、ぐらつきがある、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付け、使用ができない座席では使用しないでください。



自動車のドアの開閉操作や可動式シートの操作に干渉しないようにすること  
自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や本製品の取り付けの状態に影響をおよぼすおそれがあります。



## シートベルトの種類

本製品は自動車の3点式シートベルトを使用します。

あらかじめ3点式シートベルトの種類を確認してください。

座席の形状に問題がなくバックルの位置などの条件を満たしている場合、近年の国産車においてはほとんどの場合問題なく使用することができますが、3点式シートベルトの種類によっては、後ろ向きモードで本製品を正しく固定できない場合があります。

次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR 緊急ロック式 ベルト巻き取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
ELR/ALR (AELR) チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常はELRとして機能。 シートベルトを最後まで引き出すと、ALRに切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再びELRに切り替わる。	ELRに切り替えて取り付けてください。
その他	使用できません	

 **危険**
**シートベルトの種類以外の要因で使用できない可能性があります**

シートベルトの種類以外の要因で使用できない可能性があります。シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付け、使用ができない場合があります。取り付け、使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で取り付け、使用不可とされている車種、座席では絶対に使用しないでください。

## 使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは本製品をお使いいただくにあたって注意していただきたい重要な事柄や「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

### ⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

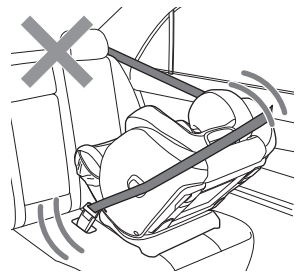
#### 本取扱説明書の指示に従って正しく使用すること

本書においては、本製品の自動車への設置、取り付け方他にお子さまの年齢、月齢に応じた使用方法や調節の方法、禁止事項などが記載されています。本書の指示に従わない使用法はお子さまばかりか他の乗員や第三者に重大な被害をおよぼすおそれがあります。

#### 本取扱説明書および本体の表記、自動車の取扱説明書の指示に従って正しく取り付け、使用すること

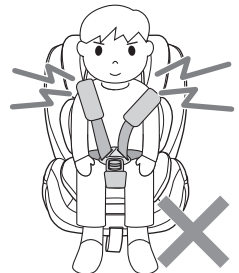
本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車のシート（座席）にしっかりと固定、設置して使用してください。

正しい状態になっていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



#### 使用条件を厳守すること

本製品は適合する基準により使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き、前向き）とそれに応じた使用可能なお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



#### 体型が合わない場合は使用しないこと

本製品はお子さまの身長により使用可能な期間と条件が定められていますが、正しい範囲内でもお子さまの体型、体格、着衣の状況により本製品を調節してもお子さまを正しく固定できない場合は所定の安全性能を発揮できませんので使用しないでください。

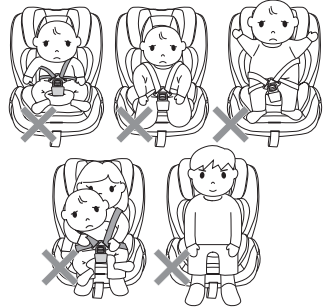


## ⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### お子さまを正しく固定して使用すること

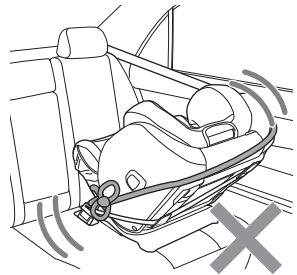
本取扱説明書の記載に従い本製品を正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネス、股ベルトや3点式シートベルトを誤って使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



### 指定する方法以外での取り付け、使用をしないこと

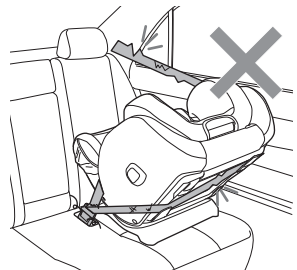
本製品は適合する車種、座席に装備された3点式シートベルトで、本製品を固定（後ろ向きモード）または本製品とお子さまを固定（前向きモード）して使用します。ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど3点式シートベルト以外のもの代用してはいけません。

また3点式シートベルトを正しく使用した上に、これらのもので補強してもいけません。本製品の設置、固定、使用に問題がなかったとしても、これらのものが本製品に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



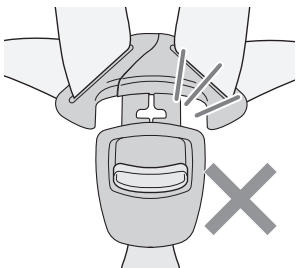
### 損傷、故障した3点式シートベルトでの取り付け、使用をしないこと

損傷、故障している3点式シートベルト（シートタング、シートバックルを含む）で本製品を取り付け、使用してはいけません。交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりバックルが外れたりして本製品が座席から外れたり、お子さまが飛び出すなどして重大な事故につながるおそれがあります。



### バックル、ハーネス、股ベルトに異常が生じた場合は本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスや股ベルトに損傷や異常があり、お子さまを正しく締め付けることができない場合はただちに使用を中止してください（後ろ向きモード）。

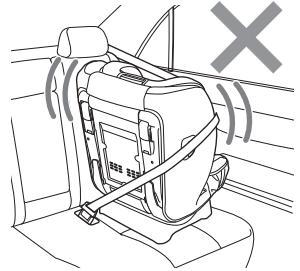


## ⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### 指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用をしないこと

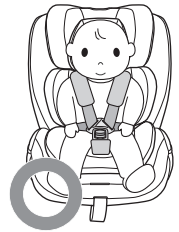
本製品は使用可能なお子さまの条件に応じて進行方向前向きの座席に後ろ向き、または前向きで設置して使用します。横向きや斜め向きなど本取扱説明書において指示していない向きにはいけません。



### ハーネスを正しく調節して常に装着すること

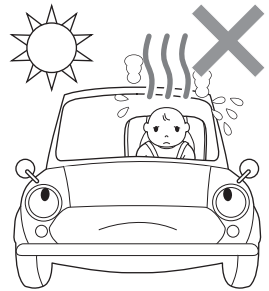
ハーネスは、正しく調節してねじれがないことを確認して使用します。 ハーネスの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るように位置を調節してしっかりと締め付けて常にバックルを留めておくようにしてください。

前向きモードでは、自動車の3点式シートベルトを正しく使用するようしてください。



### お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、どれだけ短時間であっても絶対にお子さまを自動車の中に放置してはいけません。気温に関わりなく日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また日差しのない時でもチャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり誤って自動車の操作をしたりするなどして重大な事故につながるおそれがあります。



### お子さまの様子に注意すること

本製品使用中は、安全運転に配慮した上でお子さまの様子を常に見守るようにしてください。

### お子さまを一人にしないこと

お子さまの手の届く場所に本製品を置いた状態で、お子さまから目を離さないでください。

### お子さまの身長が100cmを超えるまでは前向きモードで使用しないこと

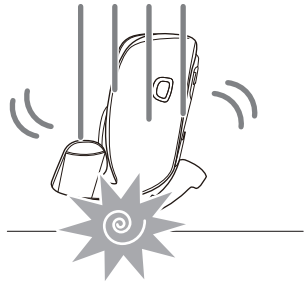
前向きモード（ブースターシート）でのご使用はお子さまの身長が100cmを超えてからです。それまでは後ろ向きモードでご使用ください。

## 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

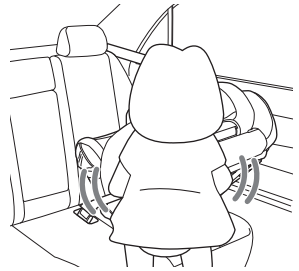
### 強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。また本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は修理ができず保証の対象外となりますので新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



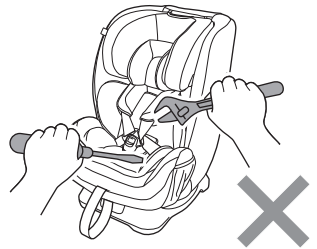
### 走行前には毎回チャイルドシートの状態を確認すること

走行中の振動や他の乗員、お子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されていたり、位置が移動していたり、シートベルトがゆるんだりしているおそれがあります。走行前には毎回チャイルドシートが正しく固定されているかどうかを必ず確認してください。



### チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり部品等を追加することは禁止されています。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや他社製の部品や製品を本製品に追加して使用しないでください。



### カバー類や部品を外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない部品を取り外して使用しないでください。カバー類やウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので決して取り外して使用しないでください。また同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので決してはがさないでください。



## 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 指定外のカバー類やパッド類、インファントインサート、クッションを使用しないこと

本製品のカバー類やパッド類、インファントインサート、クッション、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品類です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やパッド類、インファントインサート、クッション以外のものを代用または追加して使用してはいけません。

### ベルト類、ハーネスがゆるんだ状態で使用しないこと

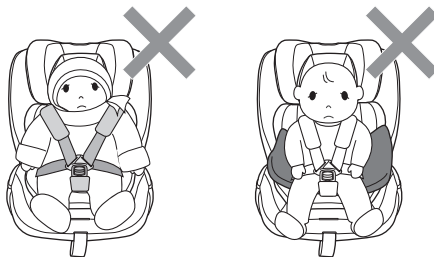
自動車の3点式シートベルトや本製品のハーネスがゆるんだ状態で使用しないでください。交通事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまが本製品から飛び出したり、ベルト類やハーネスがお子さまに絡まったり、本製品が自動車座席から外れたりするおそれがあります。

### 不適切な着衣で使用したり、お子さまの下にクッションや座布団などを敷いたりしないこと

お子さまが、サイズの大きすぎる服や厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネス、股ベルトで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ、毛布など衣服ではないものや、後ろ向きモードでは、おくるみなどの両足が出ない（股ベルトを両足ではさめない）構造の着衣でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるようにハーネス等を正しく調節してください。

正しく調節できない場合はお子さまを正しくチャイルドシートに固定できるように、着衣を調節してください。

また事故や衝撃を受けた際にお子さまが滑りやすくなりますので、毛布やクッション、座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。

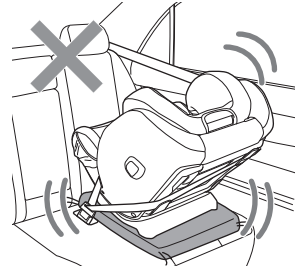


## ⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

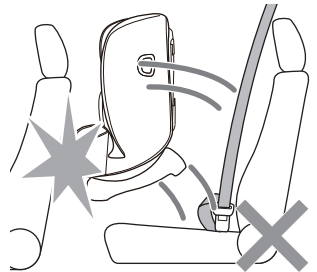
### 本製品の下に座布団やクッションを敷かないこと

本製品と座席の間に座布団やクッションなどを敷くと本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品を正しく取り付け、設置、使用した際に自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性がありますのであらかじめご了承ください。



### 使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

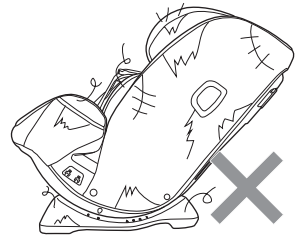
お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には本取扱説明書の指示に従って自動車のシートに固定しておいてください。固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動して運転操作の邪魔になったり他の同乗者にあたるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



### 中古品や劣化した本製品を使用しないこと

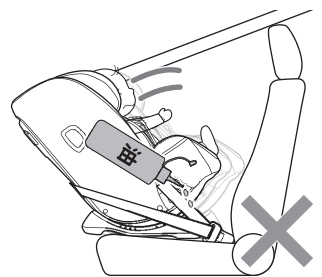
中古品は過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため使用してはいけません。

見た目では判断できない劣化や構造的損傷が発生している可能性があります。また安全のため使用しなくなった本製品は再利用されないようご配慮いただいた上で適切に廃棄するようお願いいたします。



### いかなる場合でも注油しないこと

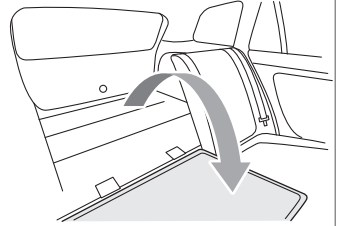
本製品が破損したり安全に機能しなくなったりするおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的であっても絶対に本製品に注油してはいけません。また同様に自動車のシートバックル、シートタンク、シートベルト巻き取り装置にも絶対に注油しないでください。



## 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

**可倒式座席の場合は確実に背もたれを固定すること**  
自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるように座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

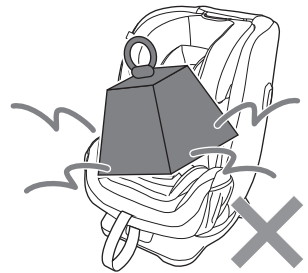


### 本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたりドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。

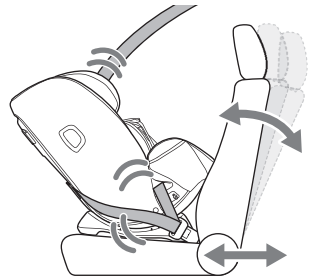
過度の負担により本製品が損傷した場合は使用を中止してください。

また負担が掛かると本製品の取り付けの状態にも影響するおそれがあります。本製品に負担が掛かった場合には本製品に異常がないことを確認した上で取り付けの状態を確認し、ゆるんだりしていた場合にはしっかりと取り付けなおしてください。



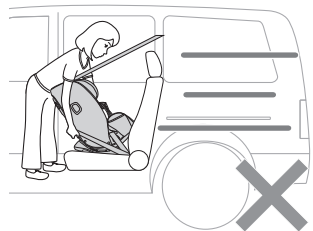
### 本製品を取り付けた後に自動車の座席のリクライニング操作または位置の移動、調整をした場合には本製品の取り付けの状態を必ず確認すること

本製品の取り付け状態に影響して、ゆるんだり不適切な状態になったりする可能性があります。本製品を取り付けた後で取り付け座席のリクライニング操作や位置を前後に移動したり回転させるなどの操作をした後は、必ず本製品の状態を確認して取り付けがゆるんでしまっていた場合には本製品を正しく取り付けなおしてください。



### 自動車の走行中にチャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中に本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認やお子さまの確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態やお子さまの固定状態に不安が生じた際には、速やかに自動車を安全な場所に停めてから確認、操作を行ってください。



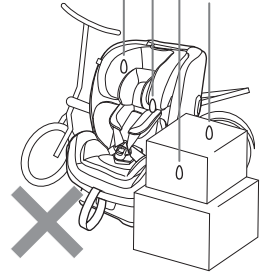


## ⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

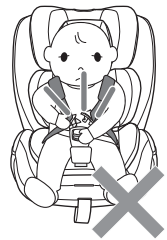
### 不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管された本製品を使用してはいけません。



### バックル、ハーネスの状態を適宜確認すること

お子さまが激しく身体を動かしたりハーネスやバックルボタン、シートバックルに触れたりするとバックル、ハーネス、シートベルトの装着状態が正しくなくなってしまう場合があります。お子さまにはバックル、シートバックルには触れないように言い聞かせて、適宜状態を確認するようにしてください。



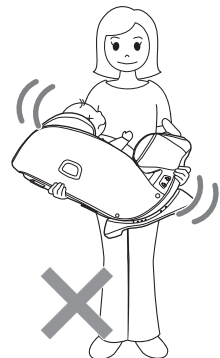
### 目的外で本製品を使用しないこと

本製品はチャイルドシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなどチャイルドシート以外の目的で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



### お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり本製品が落下したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえバックル（ハーネス、股ベルト）でお子さまが正しく固定されていたとしてもお子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

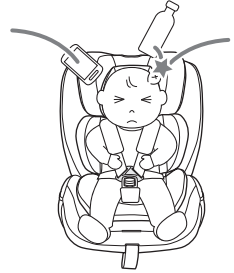


## ⚠注意

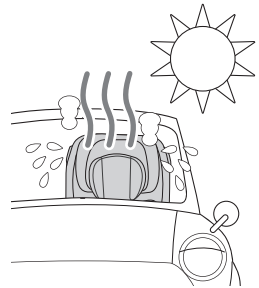
以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

**車内の物品は固定しておくこと**

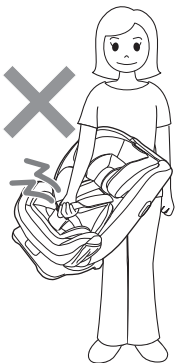
急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。

**部品の過熱に注意すること**

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してからお子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして過熱を防ぐようにしてください。

**ハーネスや股ベルトなどベース、シェル以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと**

本製品が破損、落下するおそれがありますので、本製品を持ち上げる際にハーネスや股ベルトを持ったり、生地部分やインファントインサートを持つなどして持ち上げないでください。本製品を持つ場合はベースおよびシェルの部分（樹脂部分）を持つようにしてください。

**トランク内での保管に注意すること**

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合は本製品の上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

## ⚠️ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

**バックルやハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること**  
本製品のバックルやハーネスを自動車のドアやシートで挟まないように注意してください。またバックルにほこりやゴミが付着したり入り込まないように、お子さまを乗せていない場合でも常にバックルを留めておくようにしてください。

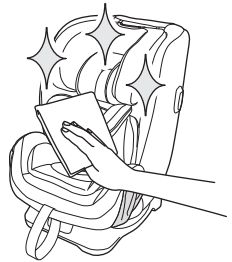
**長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください**  
本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず座席から取り外して車外に出して適切に保管してください。

**疑問点やご不明な点は、販売店またはチャイルドシートメーカーにお問い合わせください**

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

### 適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に潤滑油および潤滑性のある洗剤を使用してはいけません。本製品のお手入れは本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



### シートバックル、シートタングを清潔に保つこと

本製品は使用するモードに関わらず、自動車の3点式シートベルトを固定のために使用します。シートバックルやシートタングに汚れが付着していると事故や衝撃を受けた際に3点式シートベルトが正常に機能せず本製品が座席から外れたりお子さまが飛び出したりするおそれがあります。シートバックル内にほこりや食べかすなどが入らないように注意して常にシートバックル、シートタングを清潔に保つようにしてください。3点式シートベルトの正しいお手入れについては自動車の取扱説明書を参照してください。

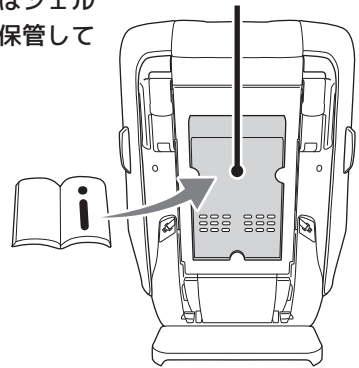


### 長時間連続して使用しないこと

お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性がありますので、長時間連続しての使用はお控えください。より快適にご使用いただくために適宜お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。また安全運転のためにもなりますので最低でも1時間に1度は連続した休憩をとるように心がけてください。

本書は取扱説明書ホルダーに保管しておくこと  
必要なときにいつでも参照できるように、本書はシエルの  
の背面（裏側）にある取扱説明書ホルダーに保管して  
おいてください。

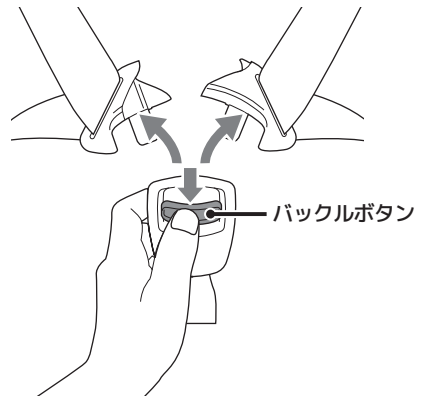
取扱説明書ホルダー



## 重要

## 緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品の  
バックルボタンを押し下げてハーネスを外して  
速やかにお子さまを自動車外に脱出させてくだ  
さい。その上で直ちにお子さまの応急処置を行  
い医師の診断を受けるようにしてください。



- 後ろ向きモードで本製品のバックルボタンが機能しない場合は、自動車のシートベルトのシートバックルを外してロックオフデバイスからシートベルトを抜き、本製品ごとお子さまを車外に脱出させてください。
- 後ろ向きモードで本製品のバックルもシートバックルも機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断してお子さまを車外に脱出させるか、お子さまを本製品のハーネスに装着させたまま自動車のシートベルトを切断して本製品ごとお子さまを車外に脱出させてください。
- 前向きモードでシートバックルが機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用して自動車のシートベルトを切断してお子さまを車外に脱出させてください。

お子さまの脱出の際にハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。

## 基本的な使いかた

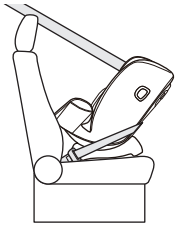
ここでは本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になるお子さまの体重や体格、月齢に合わせて本製品を調節してください。

### ⚠危険

#### 適切に使用すること

不適切な使用は重大な事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、お子さまの身長に応じて適切な向きで本製品を正しく取り付けて、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じた調節を行い正しくお使いください。

### バックルの使いかた



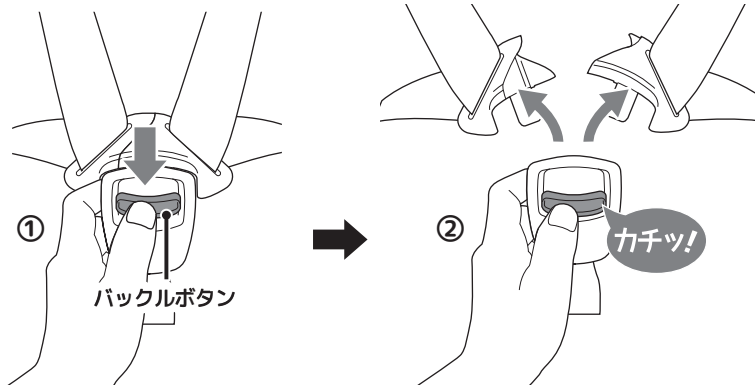
後ろ向きモードでは本製品を自動車の3点式シートベルトで固定した上で、お子さまは本製品のハーネスを装着してバックルを固定して使用します。

前向きモードでは、ハーネス、股ベルト、バックルは使用しません。

### バックルの外しかた

#### 01

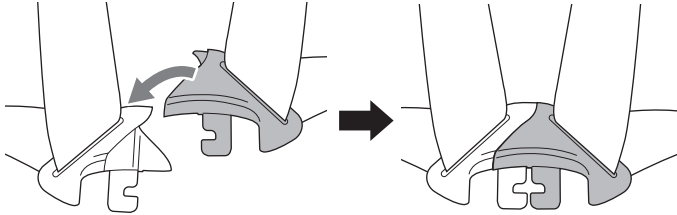
バックルを外すには①バックルボタンを押し下げます。②カチッと音がして左右の差込みタンクが外れます。



## バックルの留めかた

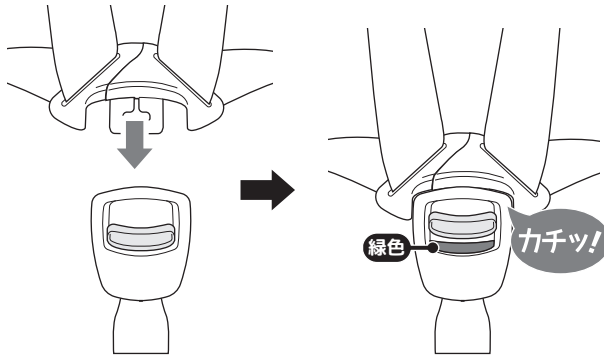
## 01

左の差込みタングの上に右の差込みタングを重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。



## 02

そのまま差込みタングを受けバックルに差し込みます。カチッと音がするまで差し込みます。バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されたことを確認してください。



## 03

軽く肩ハーネスを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

 **ポイント!**

本製品のハーネス、股ベルト、バックルは後ろ向きモードでのみ使用します。前向きモードではハーネス、股ベルト、バックルはシェルの内部に収納して、お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着します。

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

**⚠危険****バックルは確実に留めて使用すること**

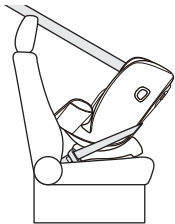
後ろ向きモード時にバックルが正しく留まっていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れてお子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合はただちに本製品の使用を中止して巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

**⚠注意****バックルを清潔に保つこと**

食べかすやゴミが受けバックルの内部に入ったり差込みタングに付着しないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。（前向きモードではバックルは本体内に収納されます。）

**ハーネスの長さ調節**

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスでお子さまをしっかりと固定できるように長さを調節します。



後ろ向きモードでは本製品を自動車の3点式シートベルトで固定した上で、お子さまは本製品のハーネスを装着してバックルを固定して使用します。

前向きモードでは、ハーネス、股ベルト、バックルは使用しません。

**⚠危険****ハーネスの長さは適切に調節すること**

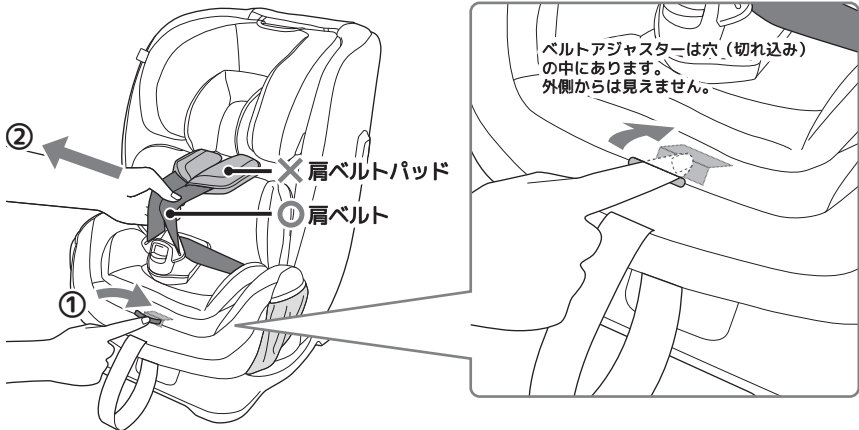
ハーネスは必ず適切な長さに調節してください。ハーネスが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると事故や衝撃の際にお子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

**⚠注意****ハーネスは左右同じ長さに調節すること**

左右でハーネスの長さが異なるとハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。必ず左右のハーネスを同じ長さに調節してください。

## ゆるめかた

シェル前端のアジャスターベルトの上にある、①ベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②左右の肩ベルトを束ねて持ってゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



## 締めかた

アジャストベルトを手前に引くとハーネスが締まります。



### ⚠️ 注意

**アジャストベルトはゆっくりと引くこと**

勢いよく強くアジャストベルトを引くとお子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。



## ヘッドサポート（肩ベルト・肩ベルトガイド）の高さ調節

後ろ向きモード、前向きモードともにヘッドサポートの高さの調節によって肩ベルトおよび3点式シートベルトのシート肩ベルト（前向きモード）を適切な状態にして使用します。ヘッドサポートと肩ベルト、肩ベルトガイドは連動しています。ヘッドサポートの高さを調節すると自動的にこれらの高さも調節されます。

お子さまの成長に合わせてそれぞれヘッドサポートの高さを適切に調節してください。

### ●後ろ向きモードの場合

ヘッドサポートを調節することにより、肩ベルトの高さを適切に調節します。

### ●前向きモードの場合

ヘッドサポートを調節することにより、3点式シートベルトのシート肩ベルトを通す肩ベルトガイドの高さを適切に調節します。

本製品を設置、取り付け、使用する前にあらかじめヘッドサポートを適切な高さに調節しておいてください。

## ⚠危険

### 肩ベルト、肩ベルトガイドの高さは適切に調節すること

肩ベルトと肩ベルトガイドの高さは必ずそれぞれの指示に従って適切な高さに調節してください。高さが適切でない場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

参照 P64-65 ▶後ろ向きモードの乗せかた▶06

参照 P69 ▶前向きモードの乗せかた▶03

### 👉ポイント！

以下の図は、後ろ向きモードでのヘッドサポート（肩ベルト）の高さ調節の操作を示していますが、前向きモードのヘッドサポート（肩ベルトガイド）の高さ調節も操作方法は同様です。

## 01

後ろ向きモードの場合は、あらかじめバックルを外してハーネスをゆるめておきます。

参照 P32 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた

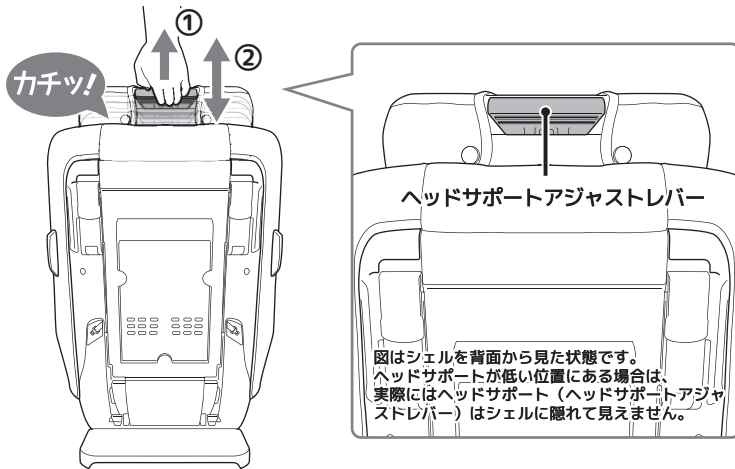
### 👉ポイント！

ハーネスが締められた状態でバックルが留まっているとヘッドサポートは高くする方向には動かせません。ヘッドサポートの高さを調節する前にハーネスをゆるめておいてください。

前向きモードの場合、ハーネスと股ベルト、バックルは本体のシェル内に収納されていますが、ハーネスを締め付けた状態だとヘッドサポートを高くする方向には動かせません。この場合はベルトアジャスターを操作しながらヘッドレストを引き上げてください。

02

ヘッドサポート上端の①ヘッドサポートアジャストレバーを握りながら②ヘッドサポートを上下にスライドさせてヘッドサポートの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすとカチッと音がしてヘッドサポートが固定されます。



👉ポイント!

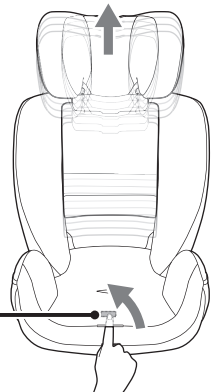
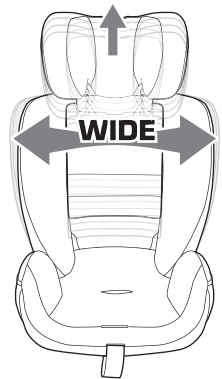
本製品ではヘッドサポートを高く調節した際(6 段目～9 段目)に、お子さまがより快適に着座できるようにシエルの側面が自動的に広がる機構を採用しています。

前向きモード時、ヘッドサポートを高く調節した際に自動車の座席のヘッドレストと干渉する場合は、ヘッドレストを高くするか、取り外して干渉しないようにしてください。

ヘッドレストを取り外した場合はトランクなどに保管して車内に放置しないようにしてください。

前向きモード時にヘッドサポートを高く調節できない場合、シエルに収納したハーネスが締め付けられている可能性があります。このような場合は、ベルトアジャスターを操作しながら肩ベルトを引き出す代わりにヘッドサポートを引き上げてください。

参照 P32 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた



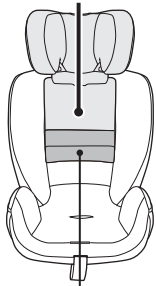
## ⚠注意

**ヘッドサポート下部のフラップ部の状態に注意すること**

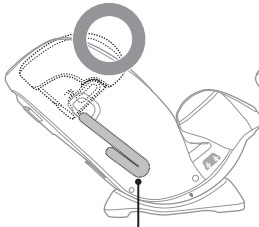
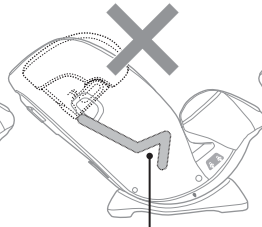
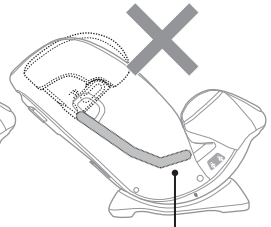
後ろ向きモードの場合、ヘッドサポートを不必要に高い位置まで調節してからヘッドサポートを下げるとヘッドサポート下部のフラップ部の余長部が盛り上がり、シェルの座面部分まで広がった状態になることがあります。この場合は一旦インファントインサートを取り外してフラップ部の余長部分を裏側に折りたたんでください。

前向きモードで使用するときは、余長部を広げて使います。

フラップ部



余長部

余長部を折り返して  
背もたれ側にたたむ余長部がシェルの座面に  
干渉して盛り上がっている余長部がシェルの座面まで  
広がっている

## インファントインサート

本製品には後ろ向きモード時に使用するインファントインサートが付属しています。インファントインサートは、ヘッドパッド、ボディサポート、クッションで構成されています。

身長が60cmになる頃まではすべてのインファントインサートを取り付けての使用を推奨します。

お子さまが成長して窮屈になってしまう場合、インファントインサートは調節して使用することができます。以下を参照して適切に調節してください。

前向きモードではインファントインサートは使用できませんので、すべて取り外してご使用ください。

参照 P12 ▶インファントインサートの使用

## ⚠注意

**後ろ向きモードで使用する場合、取り付け操作時にインファントインサートを取り外す必要があります**

ご購入時にはすべてのインファントインサート（ヘッドパッド・ボディサポート・クッション）が取り付けられていますが、本製品を自動車の座席に取り付ける際には一旦取り外す必要があります。本製品が座席にしっかりと取り付けられ、固定された事を確認してからインファントインサートの取り付け、調節を行ってください。

 **ポイント!**

インファントインサートを調節して使用する場合の操作と、インファントインサートの取り付け、取り外しの操作は基本的に同じです。

## 取り外し

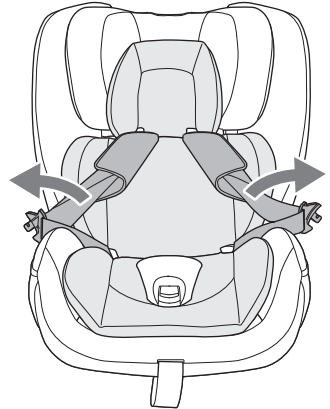
### 01

あらかじめバックルを外してハーネスをゆるめておきます。

参照 P32 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた

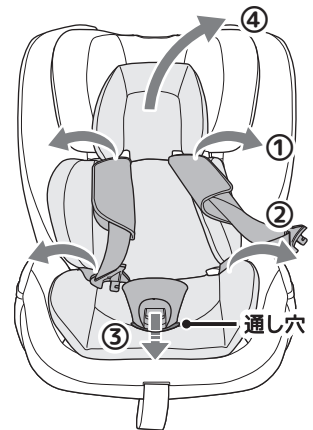
### 02

左右の差込みタングの先端をそれぞれシェルの左右の外側に出しておきます。



### 03

①左右の肩ベルト②左右の腰ベルトをそれぞれインファントインサートのすき間から外して、③受けバックル（股ベルト）をインファントインサートの通し穴から抜いて④インファントインサートを取り外します。



 **ポイント!**

ハーネスの取り外しがきつい場合はハーネスをゆるめると操作しやすくなります。

参照 P32 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた

**⚠危険****股ベルトパッドを外して使用しないこと**

インファントインサートの取り外し、取り付けの際に股ベルトパッドを取り外す必要はありません。股ベルトパッドを誤って取り外してしまった場合は必ず取り付けなおしてください。

**⚠注意****インファントインサートを大切に保管すること**

取り外したインファントインサートはお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。調節によりインファントインサートの一部分を取り外した場合も同様にしてください。

**04**

バックルを留めます。

**取り付け**

取り外しと逆の手順で取り付けます。

取り付け後は、バックルを留め、アジャストベルトを引いてハーネスを締めておきます。

参照 P30-31 ▶バックルの留めかた

参照 P32 ▶ハーネスの長さ調節▶締めかた

**👉ポイント！**

インファントインサートの取り付けがきつい場合は、ハーネスをゆるめて操作してください。

**ヘッドパッドの調節**

お子さまが成長して頭部が窮屈になったら、ヘッドパッドを取り外します。ヘッドパッドの脱着はインファントインサートを本製品に取り付けた状態のままでも行うことができます。

**👉ポイント！**

ヘッドパッドのみでは使用できません。ヘッドパッドは必ずボディサポートに取り付けて使用してください。

**01**

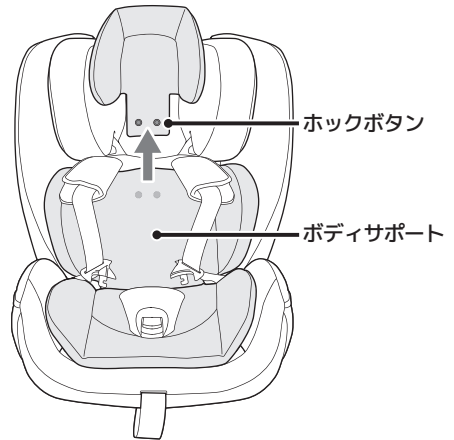
あらかじめバックルを外しておきます。

## 02

ヘッドパッドはボディサポートの表生地の裏側（クッション（背部）用収納部）にフックボタン（2カ所）で留められています。フックボタンを外してヘッドパッドを取り外します。

 **ポイント！**

ヘッドパッドの下部は、クッション（背部）とボディサポートに挟まれた状態でボディサポートにフックボタン（2カ所）で留められています。



## 03

ヘッドパッドの取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。

 **警告**
**ヘッドパッドは正しくフックボタンで取り付けること**

ヘッドパッドを取り付ける場合は、ボディサポートにフックボタン（2カ所）で確実に固定してください。フックボタンを固定せずに使用すると、事故や衝撃を受けた際にヘッドパッドが移動することによりお子さまの頭部に過剰な衝撃が加わるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

**ボディサポート/クッションの調節**

お子さまの身体が窮屈な状態になったらボディサポートからクッションを取り外して使用することができます。

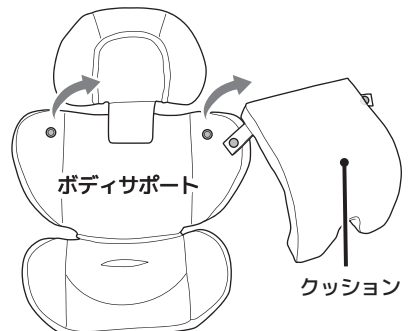
## 01

あらかじめインファントインサートをシェルから取り外してください。

参照 P36-37 ▶インファントインサート▶取り外し

## 02

クッションはボディサポートの裏側にフックボタン（2カ所）で固定されています。フックボタンを外してクッションを取り外してください。



## 03

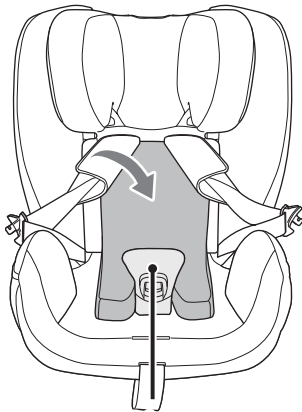
ボディサポートのみで使用する場合はボディサポートをシェル（本体）に取り付けます。取り付け、取り外しの方法はインファントインサートと同様です。

参照 P37 ▶インファントインサート▶取り付け

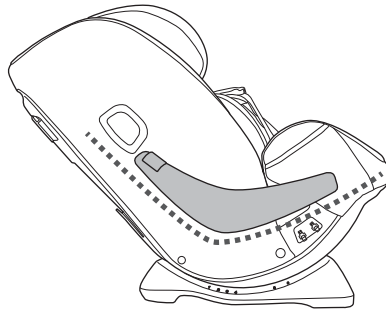
## 04

後ろ向きモードでの使用の場合、クッションを単体で使用することができます。リクライニングの状態やお子さまの成長、体格に合わせてご使用ください。

クッションを使用するにはクッションの先端のU字部を股ベルトパッドに掛けるようにしてシェル（本体）に乗せます。



股ベルトパッド



👉 **ポイント！**

上図のようにシェルの背もたれと座面の境目の位置にクッションの背面の角を合わせてください。

## 05

ボディサポートへのクッションの取り付けは 02 の逆の手順で行います。

## リクライニング機構

本製品にはシェルの角度を調節するリクライニング機構が装備されています。

後ろ向きモード、前向きモードで使用できるリクライニングの角度が異なります。それぞれ、本体のインジケーターに表記された番号で使用可能な角度を確認してください。

- 後ろ向きモードの場合は 5,6 でのみ使用可能
- 前向きモードの場合は 1,2,3,4 でのみ使用可能

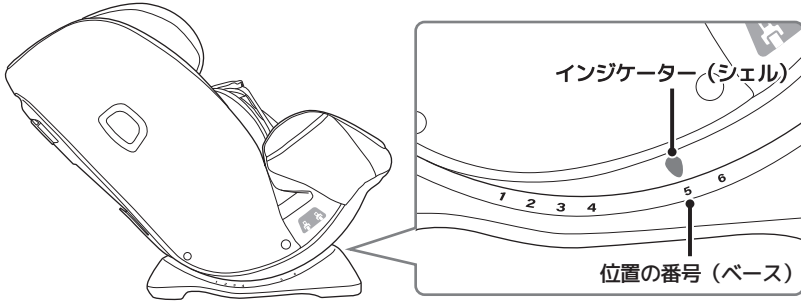
**⚠️危険**

**リクライニングを正しく調節すること**

後ろ向きモード、前向きモードにより使用できるシェルの角度が異なります。誤った角度で使用すると大変に危険です。

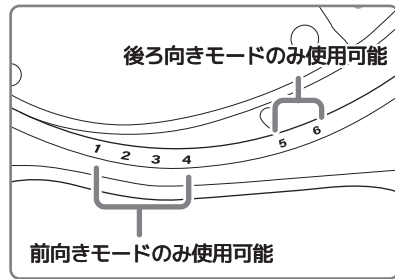
## every stage™ R129

リクライニングの角度は、シェルのインジケータが指し示すベースに印刷された番号で確認できます。下図はリクライニングが5に調節されていることを示しています。



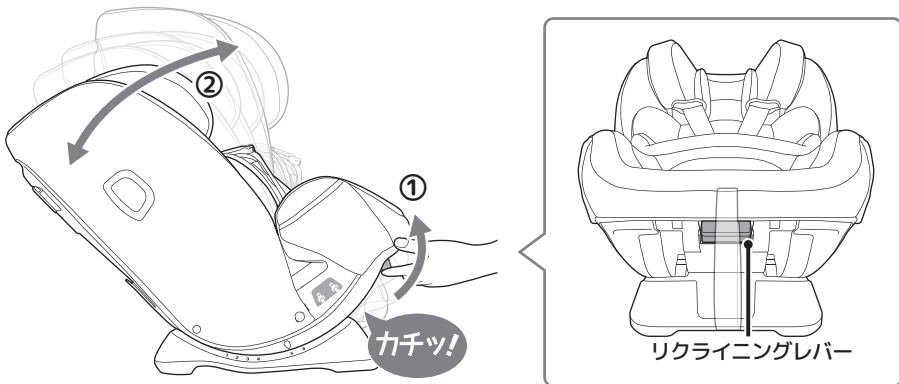
### ポイント!

後ろ向きモード、前向きモードでそれぞれ使用可能な角度に調節してご使用ください。



## リクライニングの操作

シェルの座面部先端の下にある①リクライニングレバーを引き上げて②シェルの角度を調節します。固定可能な1～6の位置のいずれかでカチッと音がしてシェルが固定されます。

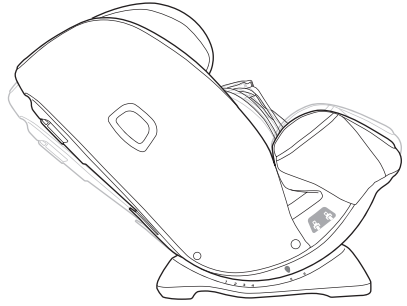




## 後ろ向きモードでのリクライニング

後ろ向きモードでは位置の番号 5,6 でのみ使用可能です。

シート座面の角度やインファントインサートの調節状況に応じてリクライニング角度を切り替えてください。



### 👉ポイント！

月齢の低い首のすわっていないお子さまの場合、背もたれの角度が立ちすぎていると頭部が前方に倒れて気道を圧迫するおそれがあります。一方、背もたれが寝すぎている場合は事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、衝撃を背中全体で受け止められなくなったりします。リクライニング角度とインファントインサートを合わせて調節するようにしてください。

### ⚠️危険

#### 前向きモードの角度では絶対に使用しないこと

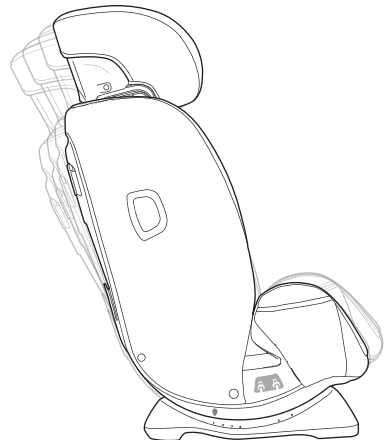
本製品を後ろ向きモードで使用する場合、リクライニングを 1,2,3,4 の位置には調節しないでください。適切な角度にならず本製品を正しく固定もできないために事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

また月齢の低い首のすわっていないお子さまの場合は頭部の傾きによって窒息するおそれがあります。

## 前向きモードでのリクライニング

前向きモードでは位置の番号 1,2,3,4 でのみ使用可能です。

シート背もたれ座面の角度やシート座面の前後の傾斜に応じて、シェルの背面部分がシート背もたれの角度に近づくように調節してください。



## ⚠危険

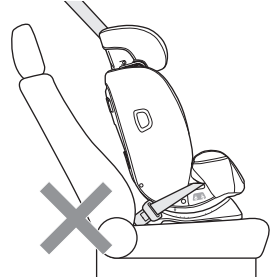
**後ろ向きモードの角度では絶対に使用しないこと**

本製品を前向きモードで使用する場合、リクライニングを5,6の位置には調節しないでください。適切な角度にならず本製品を正しく使用もできないために事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ⚠警告

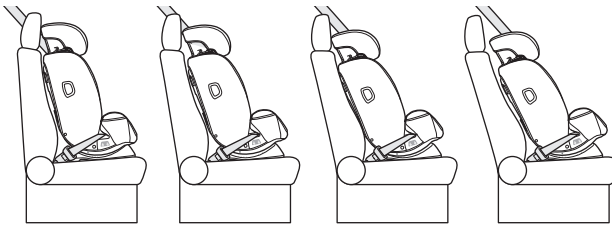
**可能な限りシート背もたれの角度に合わせてリクライニング角度を調節すること**

シート背もたれの角度と本製品のリクライニングの角度が違い過ぎていると、事故や衝撃を受けた際にシェルが後方に倒れたり、ベースがシート座面から浮くなどして本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。



## 👉ポイント!

前向きモード時は、座席のシート背もたれと本製品のシェル背面の角度を合わせて設置、使用します。本製品を設置する座席のシート背もたれの角度に応じてリクライニングを調節してください。座席のシート背もたれにリクライニング機能がある場合は本製品と併せて調節してください。座席のシート背もたれと本製品のシェルの背もたれの角度が近いほどより本製品の安全性能が高まります。



## サイドインパクトプロテクション

本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和するサイドインパクトプロテクションが同梱されています。

サイドインパクトプロテクションは、お子さまを乗せて使用する状態で自動車のドア側になるようにシェルに取り付けて使用します。サイドインパクトプロテクションがドアにあたり干渉する場合はサイドインパクトプロテクションを取り付けずに本製品を使用してください。

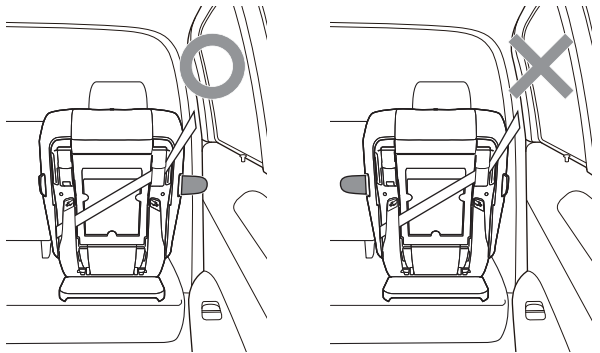


## サイドインパクトプロテクションがドアや構造物に干渉する場合は取り外すこと

サイドインパクトプロテクションは、側面からの衝撃を受けた際にドア側との空間を埋めて移動量を軽減するためのものとなります。サイドインパクトプロテクションを取り付けるとドアに干渉するような座席の場合はサイドインパクトプロテクションの効果がありませんのでサイドインパクトプロテクションを取り付ける必要はありません。このような座席で取り付けて使用するとドアの開閉操作によりサイドインパクトプロテクションや本製品、自動車のドアが破損したり、本製品の取り付けがゆるんでしまう可能性があります。

## サイドインパクトプロテクションはドア側に取り付けること

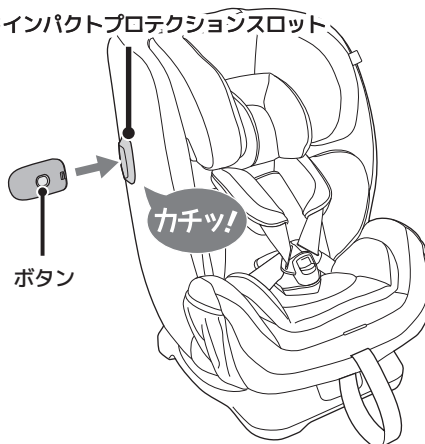
中央席側（他の乗員側）には取り付けないでください。事故や衝撃を受けた際に中央席側の乗員にサイドインパクトプロテクションがあたりケガをするおそれがあります。サイドインパクトプロテクションは自動車のドア側になるように取り付けます。



## 01

サイドインパクトプロテクションを取り付けるには、取り付け側のシェル側面の差込口にボタンを手前側にして差し込みます。カチッと音がして固定されたことを確認してください。

### サイドインパクトプロテクションスロット



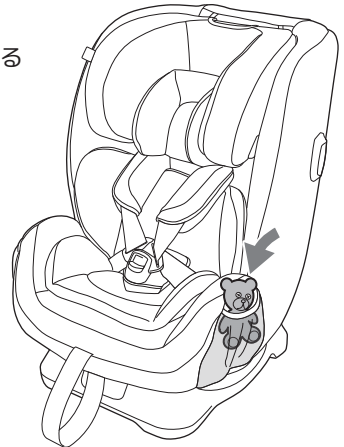
## 02

取り外すには、①サイドインパクトプロテクションのボタンを押しながら②引き抜きます。



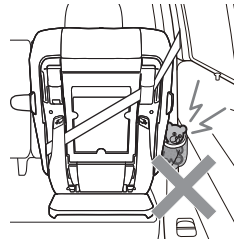
## マルチポケット

シェルの左右にはマルチポケットが付いています。ティッシュやハンカチ、ソフト玩具などの小物を収納することができます。



### ⚠️ 注意

**ドア側のマルチポケットの使用には注意してください**  
サイズの大きなものや液漏れする可能性のあるものなどをドア側のマルチポケットに収納すると、ドアの開閉により収納した物品が破損したり液漏れしたりするおそれがあります。



### マルチポケットの使用に関してご注意ください

マルチポケットが破損するおそれがありますので、大きすぎるもの、鋭利なものや角のとがったものは入れないでください。密封できない容器に入った飲料、熱い飲料、割れ物、ビン類、壊れやすいものは入れないでください。

## 自動車の座席への取り付け、設置

本製品を自動車の座席に取り付け、または設置します。本製品はお子さまの身長、月齢によって後ろ向きモード、または前向きモードで使用します。後ろ向きモードでの取り付けと前向きモードの設置では操作方法が異なりますのでご注意ください。「使用できるお子さまの条件」を参照して、適切なモードでご使用ください。

参照 P10-11 ▶使用できるお子さまの条件

### ⚠危険

#### 使用できるお子さまの条件に従うこと

使用できるお子さまの条件に従わないと大変に危険です。必ずお守りください。

### ⚠警告

#### お子さまを近づけないようにして作業すること

安全のため、本製品の設置、取り外しの作業中はお子さまを近づけないようにしてください。

#### お子さまを乗せた状態で取り付け、設置、取り外しをしないこと

本製品やお子さまが落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

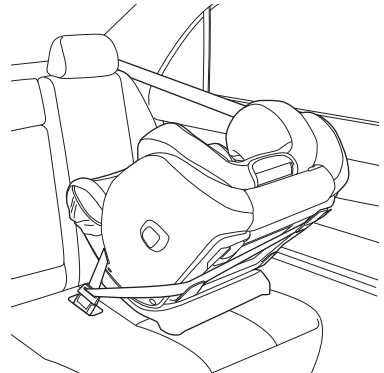
#### 👉ポイント！

以下の説明では、本製品を右ハンドル車の助手席後ろの座席（自動車の進行方向に向かって左側の後部座席）に設置する場合を図示しています。右側の後部座席に設置する場合、図示とは左右を逆にして操作してください。

## 後ろ向きモードでの使用

### 使用可能なお子さまの条件

身長	} ※1	40cm ~ 105cm
体重		2.5kg ~ 22kg
目安年齢※2		新生児※3 ~ 4歳頃まで
リクライニング		5,6
インファントインサート		使用可能



※1. 身長、体重の両方の条件を満たしていること。

※2. 目安年齢はあくまでも目安です。身長および体重で使用できるお子さまの条件をご確認ください。

※3. ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

## 01

後ろ向きモードでは、お子さまは本製品のハーネスを装着します。前向きモード（ハーネス、股ベルトがシエルの内部に収納されている）状態の場合は、ハーネスと股ベルトを使用可能な状態にしておいてください。

参照 P59 ▶前向きモードでの使用▶準備▶14

## 02

インファントインサートが取り付けられている場合は、一旦取り外しておきます。

参照 P35-37 ▶インファントインサート▶取り外し

### ⚠注意

インファントインサートを取り付けたままでは正しく取り付けできません  
一旦取り外して、本製品を座席に取り付けてください。本製品が正しく座席に固定されたことを確認してからインファントインサートを取り付けなおします。

## 03

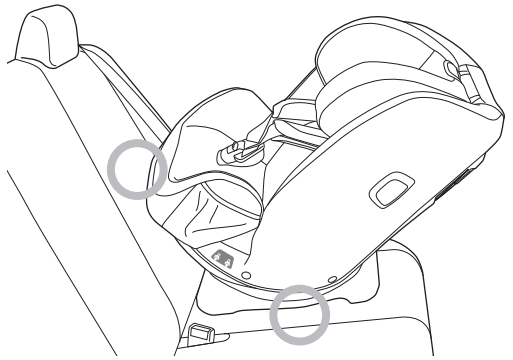
リクライニングが後ろ向きモードの位置になっていない場合は、あらかじめ後ろ向きモードの位置 (5,6) にしておきます。

参照 P39-42 ▶リクライニング機構

## 04

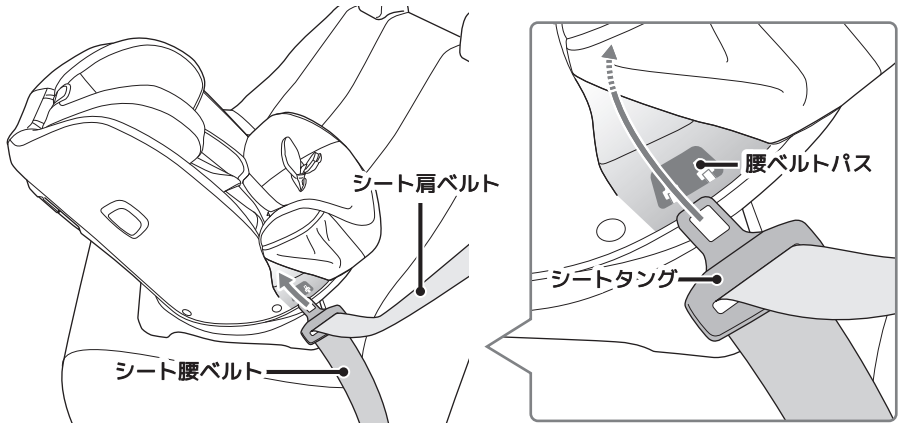
本製品を取り付ける自動車の座席の左右中央に本製品を後ろ向きにして置いてバックルを外しておきます。

ベースの底面が座席の座面に、シェルの前端が背もたれにそれぞれ接するようにしてください。



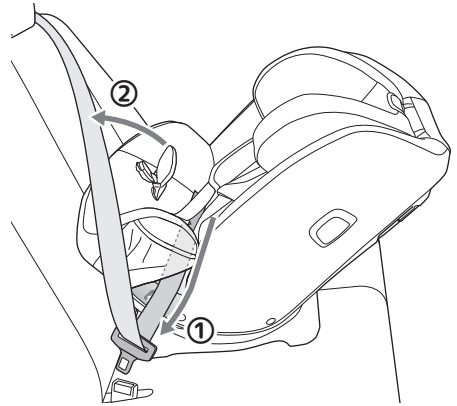
## 05

シートベルトを引き出して、シートタングをシートベルトの巻き取り装置側（シートバックルの反対側）の腰ベルトパス（緑色の部分）に通します。この際シートタングを本製品のハーネス下をくぐらせるようにしてください。



## 06

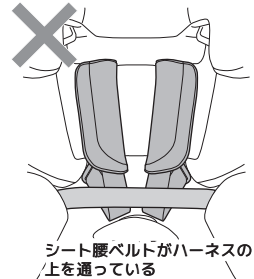
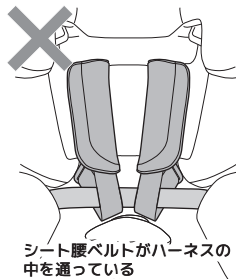
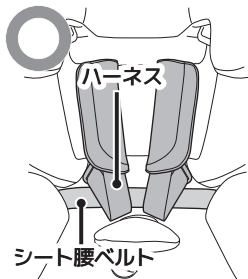
そのまま、①シートタングとシート腰ベルトをシート腰ベルトがハーネス、股ベルト（受けバックル）に掛からないように注意して反対側の腰ベルトパスから抜き出します。②シート肩ベルトは腰ベルトパスから抜いておいてください。



## ⚠危険

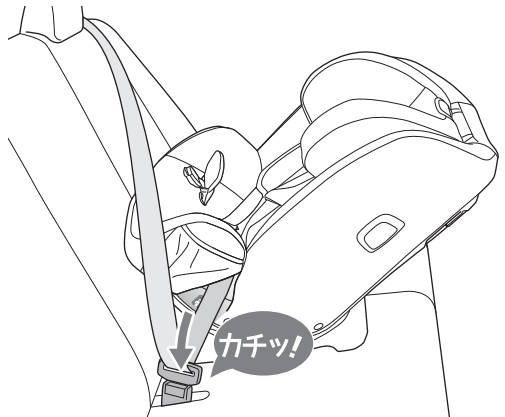
シート腰ベルトとハーネス、股ベルト（受けバックル）、インファントインサートが干渉しないようにすること

お子さまを正しく固定することができなくなりますので、シート腰ベルトはハーネスの下側を通すようにしてください。また、インファントインサートを取り付けた状態で本製品の取り付けを行うと、シート腰ベルトがインファントインサートの上を通り本製品が正しく固定できません。本製品の後ろ向きモードでの取り付け時には、必ずインファントインサートを一旦取り外して操作してください。



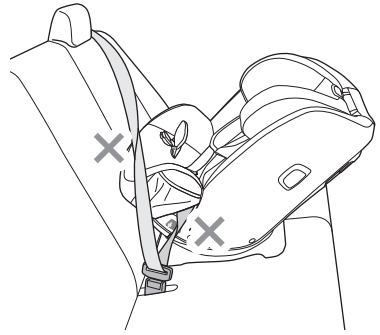
## 07

シート腰ベルトとシート肩ベルトにねじれがないことを確認して、シートタングをシートバックルにカチッと音がするように差し込んでシートベルトを固定します。



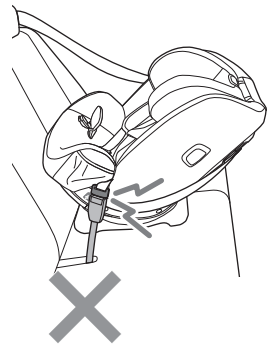
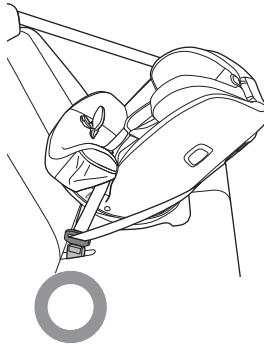
## ⚠危険

シートベルトにねじれがないようにすること  
シートベルト（シート肩ベルト、シート腰ベルト）にねじれがあると、本製品を正しく固定することができません。シートバックルを留めるとねじれは直せませんのでバックルを留める前にシートベルトにねじれがないことを確認してください。ねじれがある状態のままシートバックルを留めてしまった場合は、一旦シートバックルを外してシートベルトのねじれを無くしてからバックルを留めなおしてください。



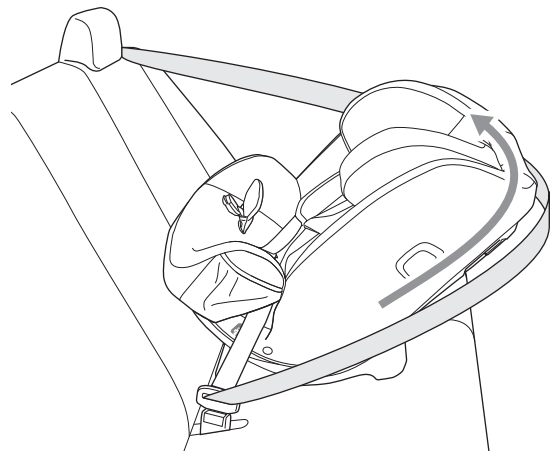
## 不適切なシートバックルでは使用しないこと

シートバックル（シートバックルのベルト）が長すぎる座席には取り付けしないでください。シートバックルのベルトが長すぎたり、位置が高すぎたり、前過ぎたりすると、本製品に干渉してしっかりと取り付けができない場合があります。このような座席には取り付けないようにしてください。



## 08

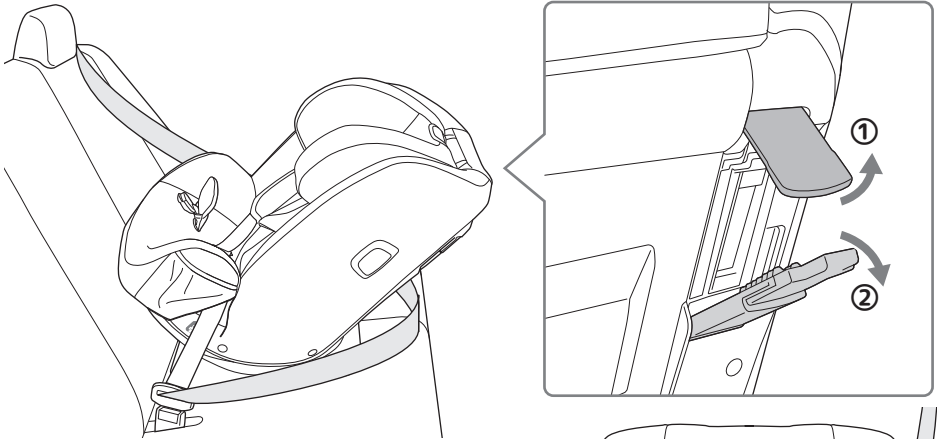
シート肩ベルトをシェルの背面側に回します。





09

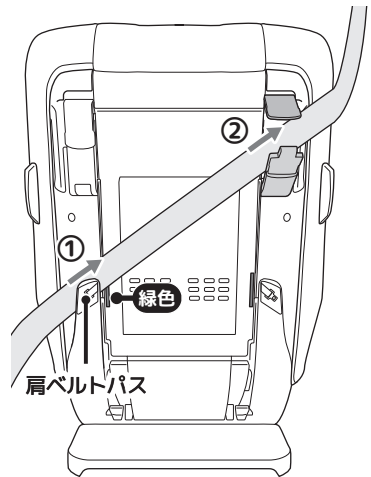
シート背面のシートベルトの巻き取り装置側（シートバックルと反対側）のロックオフデバイスを開きます。①緑のカバーを開いて、②下のカバーを開きます。



10

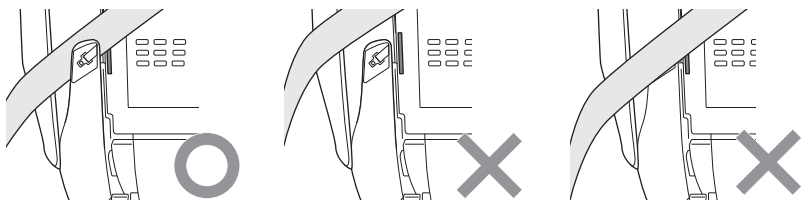
シート肩ベルトを①シートバックル側の肩ベルトパス（緑色のシールの部分）に通して、②09で開いたロックオフデバイスの中を通るようにします。まだロックオフデバイスは閉じないでください。

**ポイント！**  
右ハンドル車の運転席後ろの座席に取り付ける場合は肩ベルトパス、ロックオフデバイスはそれぞれ左右反対側を通ります。



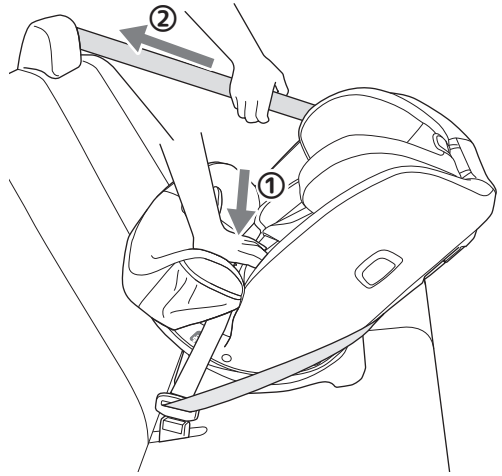
**⚠危険**

シート肩ベルトを肩ベルトパスに通すこと  
シート肩ベルトが肩ベルトパスを通過していないと本製品を正しく固定することができません。下図を参照して正しい状態にしてください。



## 11

①シート腰ベルトを避けてシェルの座面部分を強く押し付けながら、②シート肩ベルトを締め付ける方向に強く引きます。強く引いて締め付けるほど本製品はより安定します。



## ⚠ 注意

## 注意して操作すること

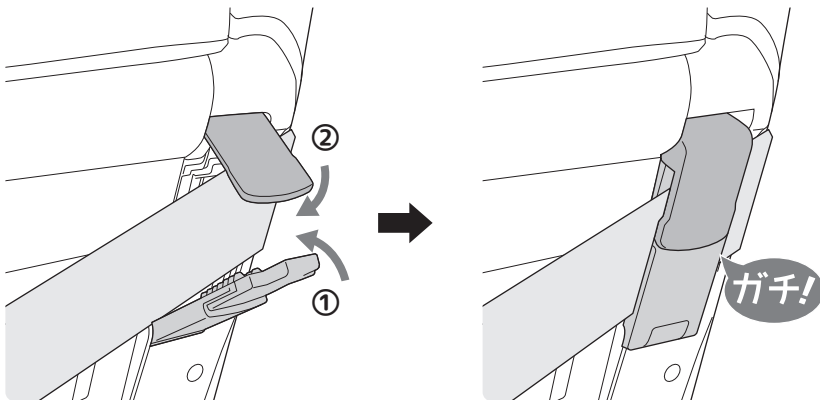
本製品の座面部分を押し付ける操作をする際、ケガをするおそれがありますので受けバックルや差込みタングを推さないようにしてください。

## 👉 ポイント！

①の操作を行う際に、シート腰ベルトを押し付けるとシートベルトが押さえつけられてしまうため、②の締め付け操作ができなくなります。受けバックル、差込みタング、シート腰ベルトを避けて本製品の座面を直接押し付けてください。

## 12

シート肩ベルトを強く引いたままロックオフデバイスをしっかりと閉じてシート肩ベルトを固定します。①下のカバー、②緑のカバーの順でガチッと音になるまで閉じてください。ロックオフデバイスを閉じる操作は固めです。注意してロックオフデバイスを閉じてください。



## ⚠ 危険

## ロックオフデバイスを最後までしっかりと閉じること

ロックオフデバイスを最後までしっかり閉じていないと本製品の取り付けがゆるみます。シートベルトを強く引いた状態で固定するため、ロックオフデバイスは確実に最後まで閉じてください。

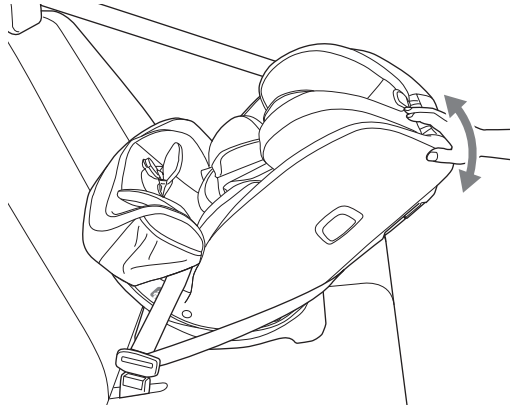
## ⚠️ 注意

### 注意して操作すること

シート肩ベルトをしっかりと固定するため、ロックオフデバイスの開閉操作は固くなっています。手指を挟まないように注意して操作してください。

## 13

本製品を前後左右に軽く動かしてしっかりと固定されていることを確認してください。グラグラした感じがしたり、本製品が3cm程度以上動く場合は、取り付けがゆるい状態ですので09～12の操作をやりなおしてシート肩ベルトをさらに締め付けてロックオフデバイスを閉じてください。



## ⚠️ 警告

### 取り付けの状態に注意すること

本製品を取り付けた後で座席のリクライニングを調節したり座席を前後に動かしたりすると、取り付けがゆるんだり本製品の角度が変わったりすることがありますので注意して操作してください。

### 👉 ポイント！

シートベルトをきつく締め付けるほど本製品はしっかりと固定されます。シートベルトにねじれがないことを確認して可能な限りシートベルトをきつく締め付けるようにしてください。

また使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、適宜シートベルトの締め付け状態を確認してください。

車種、座席の種類によってはシートベルトで本製品を取り付けた後で座席を後ろ方向に移動させるとより本製品がきつく固定できる場合があります。ただし、このようなシートの場合は座席を前方向に移動させると取り付けがゆるみます。本製品の取り付け後の座席の位置、リクライニングの調節については本製品の取り付け状態に影響しますので、注意して操作するようにしてください。

## 14

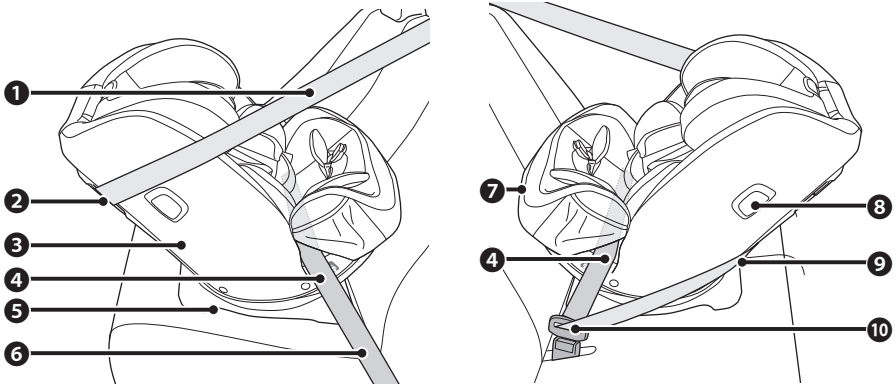
インファントインサートを取り付けます。インファントインサートはお子さまの成長に応じて、適切に調節、着脱してご使用ください。

参照 P37 ▶インファントインサート▶取り付け

## 15

以下のチェックリスト（10項目）を確認します。一つでも正しくない部分があれば正しい状態になるよう取り付けなおしてください。

本製品の使用中は正しい状態が維持されていることを適宜確認してください。



## チェックリスト

- ① シート肩ベルトにねじれ、ゆるみがなく本製品をしっかりと固定していること。
- ② シート肩ベルトがシートベルトの巻き取り装置側のロックオフデバイスに正しく通りしっかりと閉じられていること。
- ③ シェルのリクライニングが「後ろ向きモード」のいずれかに調節されていること。
- ④ シート腰ベルトが左右の腰ベルトパスを通過していること。  
シート腰ベルトがインファントインサートの下を通過していること。
- ⑤ ベースがシートの座面から浮いていないこと。
- ⑥ シート腰ベルトにねじれ、ゆるみがなく本製品をしっかりと固定していること。  
シート腰ベルトがハーネス、股ベルトに干渉していないこと。
- ⑦ 本製品の先端部がシート背もたれに接していること。
- ⑧ 他の乗員側にサイドインパクトプロテクションが取り付けられていないこと。
- ⑨ シート肩ベルトがシートバックル側の肩ベルトパスを正しく通過していること。
- ⑩ シートベルトのバックルが正しくしっかりと留まっていること。

## 16

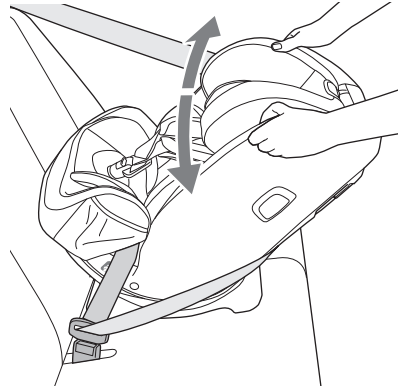
バックルを留めておきます。

 ポイント！

本製品を取り付けた後で本製品のリクライニング操作を行うと、本製品の取り付け状態に影響を与える可能性があります。リクライニング操作を行った場合は15（チェックリスト）の確認を行い、取り付けにゆるみが生じている場合は、09～12の操作を行ってシートベルトを締め付けなおしてください。

**17**

使用中やインファントインサートの調節、着脱操作時に取り付け状態に変化が生じる場合があります。取り付け後は適宜本製品がゆるみなくしっかりと固定されていること、シートベルトが正しい場所を通っていること、ベースが座面から浮いたりしていないことなど、15のチェックリストの状態を常に確認して使用してください。

**18**

以下を参照して正しくお子さまを乗せてご使用ください。

参照 P62-68 ▶お子さまの乗せかた▶後ろ向きモードの乗せかた

**19**

取り外しは逆の手順で行います。取り外した本製品はお子さまが乗っていない場合でもそのままにせず、車外に出すようにしてください。

このまま後ろ向きモードでご使用になる場合は以下にお進みください。

P62-68 ▶お子さまの乗せかた▶後ろ向きモードの乗せかた

## 前向きモードでの使用

## 使用可能なお子さまの条件

身長	】※ <sup>1</sup>	100cm ~ 145cm
体重		15kg ~ 36kg
目安年齢※ <sup>2</sup>		3歳頃 ~ 12歳頃まで
リクライニング		1,2,3,4
インファントインサート		使用不可



※ 1. 身長、体重の両方の条件を満たしていること。

※ 2. 目安年齢はあくまでも目安です。身長および体重で使用できるお子さまの条件をご確認ください。

※ 3. ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

## ポイント！

身長 105cm かつ体重 22kg までは、後ろ向きモードで使用できます。使用可能な期間の間はより安全性が高いとされている後ろ向きモードでの使用を推奨します。

## ⚠危険

身長 100cm かつ体重 15kg を超えるまでは前向きモードで使用しないこと  
使用できるお子さまの条件を守らないと、本製品が安全に機能しません。お子さまの身長が 100cm を超え、かつ体重が 15kg を超えるまでは後ろ向きモードでご使用ください。

## 準備

前向きモードは本製品をブースターシートとして使用します。

前向きモードでは、お子さまは本製品のハーネスではなく 3 点式シートベルトを装着するため前向きモードとして使用する準備としてハーネス、股ベルトをシェル内に収納する操作を行います。

## 01

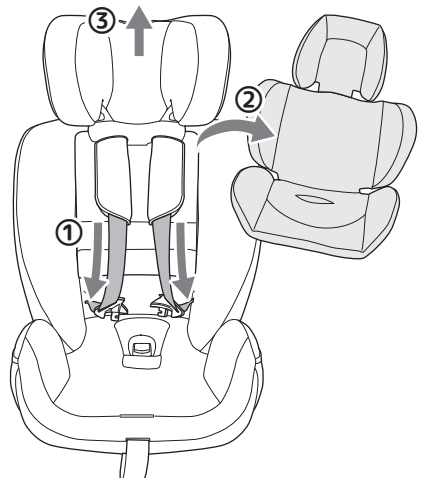
バックルを外して①ハーネスを最後までゆるめて、②インファントインサートを取り外し、③ヘッドサポートを最も高い位置まで引き上げておきます。

前向きモードではインファントインサートは使用できませんので、お子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください。

参照 P32 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた

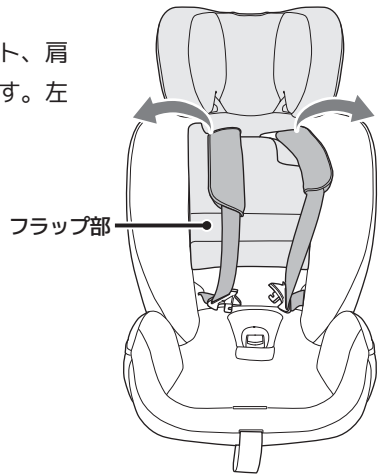
参照 P35-37 ▶インファントインサート▶取り外し

参照 P33-35 ▶ヘッドサポート（肩ベルト・肩ベルトガイド）の長さ調節



02

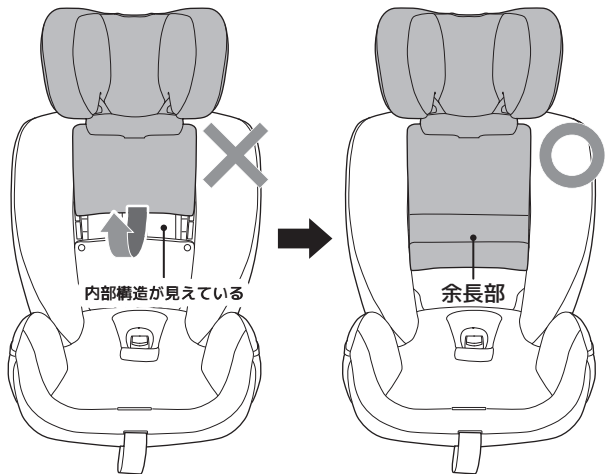
ヘッドサポートのフラップ部と上部の間隙から肩ベルト、肩ベルトパッドを抜いて外に出して裏側に回しておきます。左右とも同じようにしてください。



03

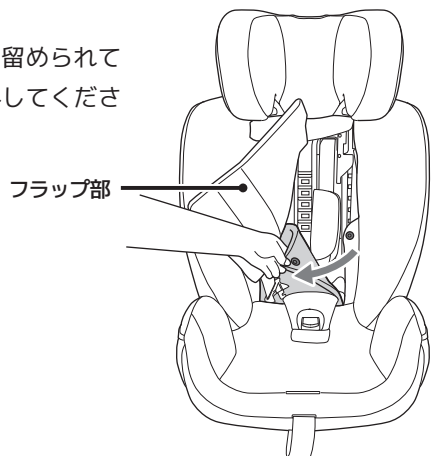
ヘッドサポート下部のフラップ部の余長部が内側にたたまれている場合は開いておきます。

参照 P35 ▶ヘッドサポート（肩ベルト・肩ベルトガイド）の高さ調節▶注意



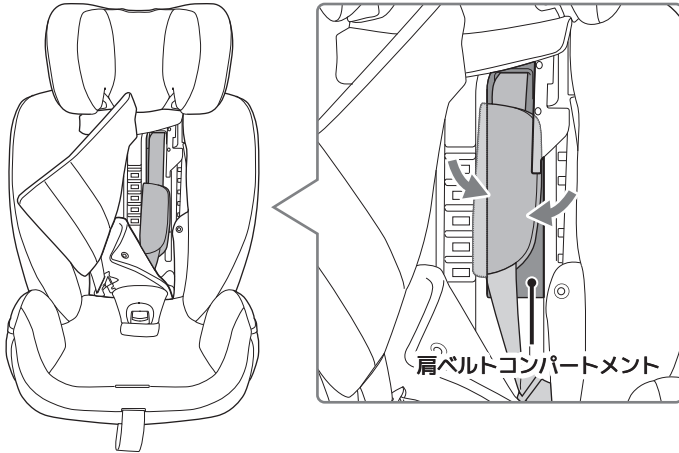
04

フラップ部の裏側で背もたれの上下中央あたりに留められている左右のホックボタンを外します。左右とも外してください。



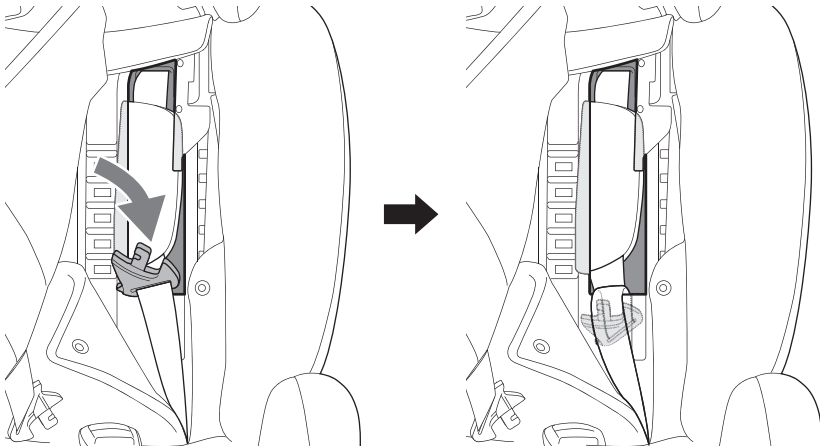
05

左右の肩ベルトパッド（肩ベルト）を、肩ベルトコンパートメントに押し込みます。左右とも同じようにしてください。



06

差込みタングを肩ベルトコンパートメント内に収納します。左右とも同じようにしてください。



 **ポイント！**

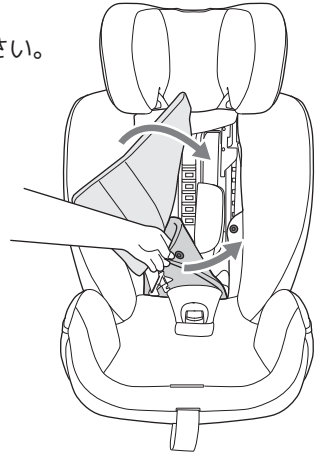
肩ベルトが長すぎたり、短すぎたりして差込みタング、肩ベルトパッド、肩ベルトを肩ベルトコンパートメントに収納しにくい場合、ハーネスの長さを調節してください。

参照 P32 ▶ハーネスの長さ調節



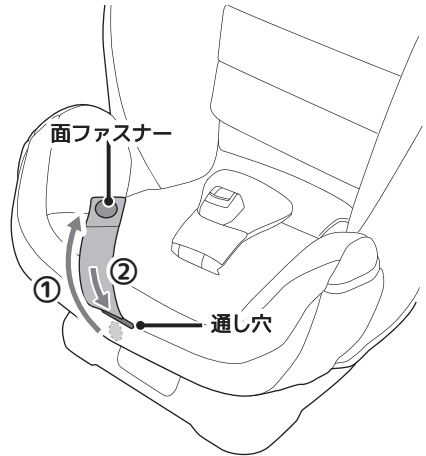
07

04 で外したホックボタンを留めます。左右とも留めてください。



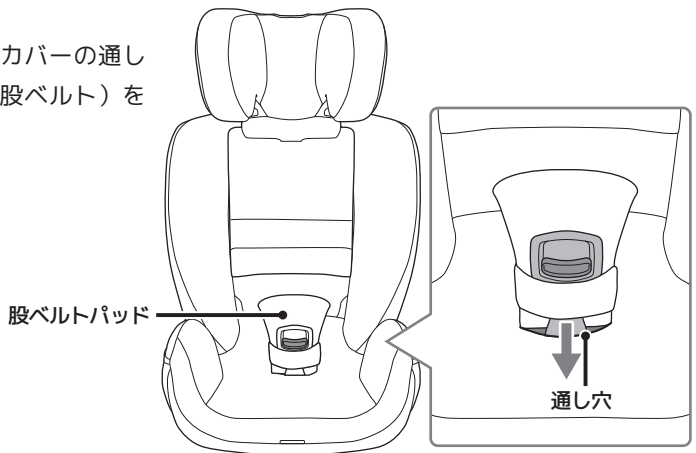
08

①シエルの足元側先端でシートカバーの裏側に留めてあるアジャスターベルトの面ファスナーを外して、②シートカバーの通し穴から抜き取っておきます。



09

股ベルトカバーとシートカバーの通し穴から、受けバックル（股ベルト）を抜き出しておきます。



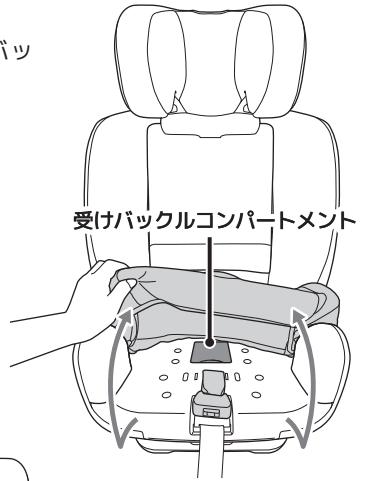
## 10

シートカバーの先端部分をめくり上げて、奥にある受けバックルコンパートメントを確認してください。

### ポイント！

シートカバーを取り外すと操作がしやすくなりますが、ここでは先端部分のみめくり上げても操作が可能です。この場合、狭い空間での操作となりますので注意して作業してください。

参照 P82-85 ▶インファントインサート、パッド類、カバー類の取り外し▶シートカバー

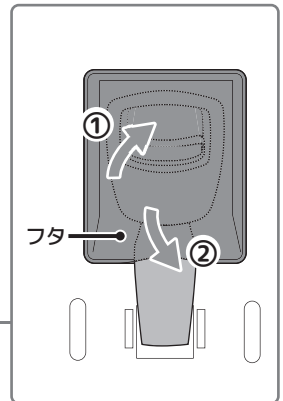
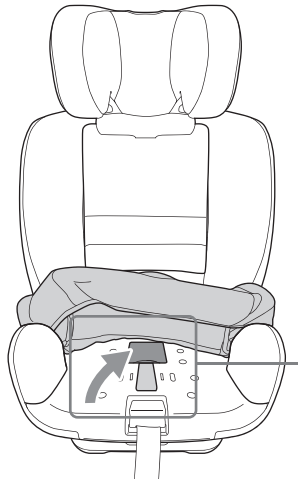


## 11

受けバックルコンパートメントのフタを開け、①受けバックルを収納して、②フタを閉じます。

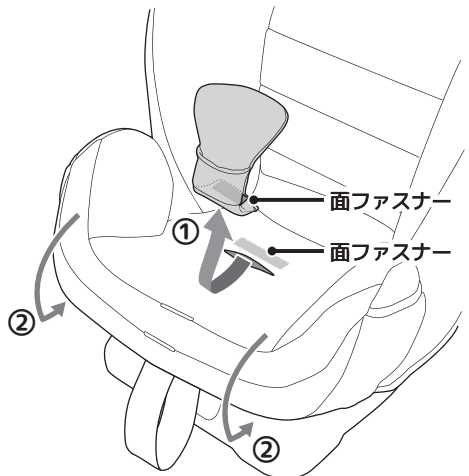
### ポイント！

フタは閉じた状態では固定されません。



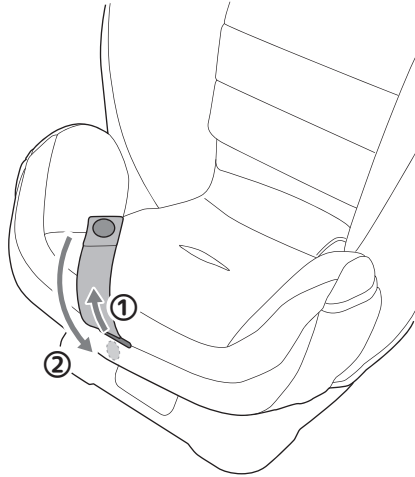
## 12

①シートカバーの受けバックルの通し穴で、背中側に折り返して留めてある面ファスナーを外して股ベルトパッドを取り外し、②シートカバーの先端をシェルに被せます。前向きモードでは股ベルトパッドは使用できませんので、お子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください。



### 13

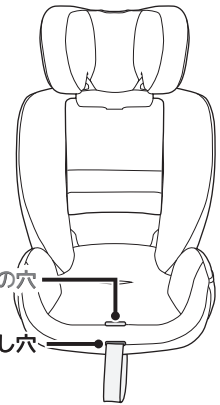
①アジャスターベルトをシートカバーの通し穴から出し、②アジャスターベルトの面ファスナーをシートカバーの面ファスナーに留めます。



#### ⚠ 注意

##### 通し穴を間違えないこと

シートカバーの先端部には、ベルトアジャスター操作用の穴とアジャスターベルトの通し穴があります。アジャスターベルトの通し穴は下にあります。アジャスターベルトをベルトアジャスター操作用の穴に通さないようにしてください。



✗ ベルトアジャスター操作用の穴

○ アジャスターベルトの通し穴

### 14

前向きモードから後ろ向きモードに戻すには、逆の手順で操作してください。

## 設置

前向きモードは、本製品をブースターシートとして使用します。このため本製品を自動車の座席に取り付ける操作はありません。

本製品を自動車の座席に置き、お子さまを乗せて3点式シートベルトで固定します。

### 👉 ポイント！

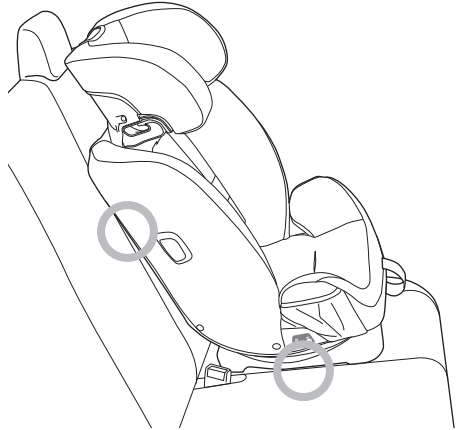
お子さまが乗っていない状態では本製品は自動車の座席には固定されていません。お子さまを乗せない場合は、車外に出してトランクに入れておくか、またはお子さまの乗せかたの要領で本製品を3点式シートベルトで固定しておいてください。



### 01

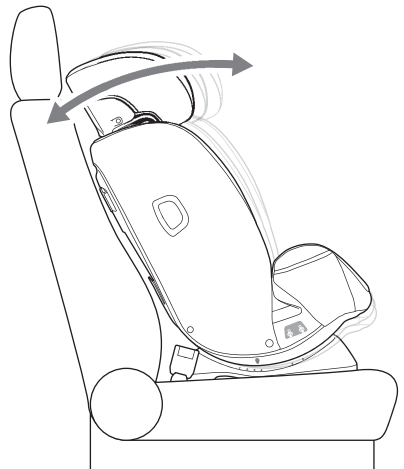
本製品を取り付ける自動車の座席の左右中央に本製品を前向きにして置きます。

ベースの底面が座席の座面に、シェルの背面が背もたれにそれぞれ接するようにしてください。



### 02

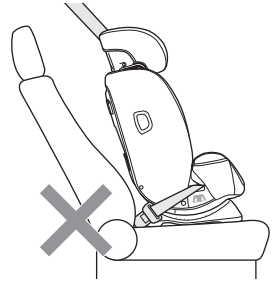
リクライニングを調節してシート背もたれとシェルの背もたれを同じ角度にします。必要に応じてシート背もたれのリクライニングも併せて調節してください。



## ⚠ 警告

### 可能な限りシート背もたれの角度に合わせてリクライニング角度を調節すること

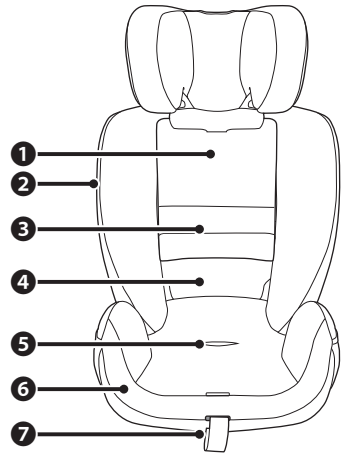
シート背もたれの角度と本製品のリクライニングの角度が違い過ぎていると、事故や衝撃を受けた際にシェルが後方に倒れたり、ベースがシート座面から浮くなどして本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。



## 03

以下のチェックリスト（7項目）を確認します。一つでも正しくない部分があれば正しい状態にしてください。

本製品の使用中は正しい状態が維持されていることを適宜確認してください。



## チェックリスト

- ① 左右の肩ベルト、肩ベルトパッドがシェル内の肩ベルトコンパートメントに収納されていること。
- ② 他の乗員側にサイドインパクトプロテクションが取り付けられていないこと。
- ③ ヘッドサポートの下部の余長部が開かれていること。
- ④ リクライニングの角度が調節されて座席のシート背もたれと同じ角度になっていること。  
シェルの背面がシート背もたれに接していること。
- ⑤ 股ベルトパッドが取り外されていて受けバックルが受けバックルコンパートメントに収納されていること。
- ⑥ ベースがシート座面に接していること。
- ⑦ アジャスターベルトが正しい通し穴を通っていること。

このまま前向きモードでご使用になる場合は以下にお進みください。

**P68-76 ▶お子さまの乗せかた▶前向きモードの乗せかた**

## お子さまの乗せかた

後ろ向きモードと、前向きモードではお子さまの乗せかたや調節の仕方が異なります。  
お子さまの安全のためにモードに応じて正しくお使いください。

### ⚠危険

#### 使用できるお子さまの条件を遵守すること

お子さまの身長が 100cm を超え、かつ体重 15kg を超えるまでは後ろ向きモードでのみ使用可能です。前向きモードで使用してはいけません。

### ⚠警告

#### 本製品のシートへの設置、取り付けはお子さまを乗せずに行うこと

お子さまを乗せたままで本製品の設置、取り付け、取り外しをしないで下さい。本製品が正しく取り付けできず、またお子さまが落下するおそれもあります。

## 後ろ向きモードの乗せかた

### 01

本製品が後ろ向きで正しく自動車のシートに取り付けられていることを確認してください。

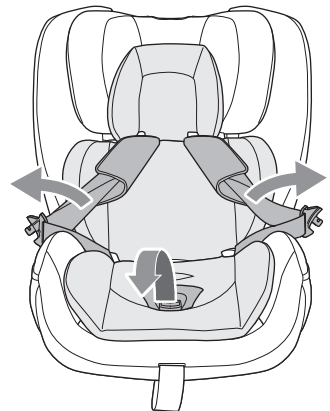
参照 P52 ▶後ろ向きモードでの使用▶ 15

### 02

あらかじめハーネスをゆるめてバックルを外しておきます。

### 03

お子さまが受けバックルや差込みタングの上に座らないように左右の差込みタングをそれぞれ外側に出して、受けバックルを前に倒しておきます。



#### 👉ポイント!

お子さまを乗せ降ろしする際、差込みタング、ハーネスを腰ベルトパスの部分に差し入れておくとより乗せ降ろしがしやすくなります。

## 04

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。

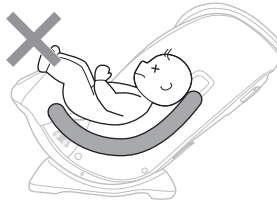


 **ポイント！**

お子さまを楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

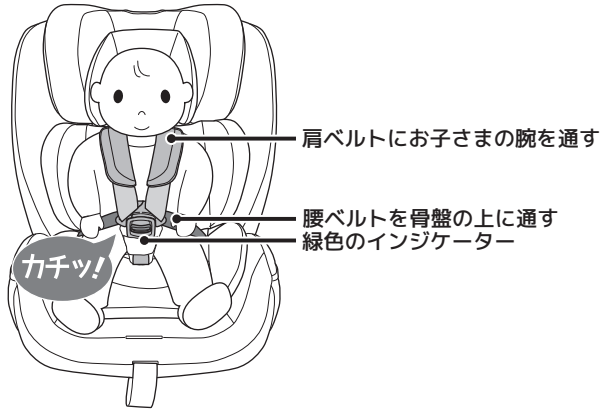
 **危険**

**お子さまを正しい姿勢で乗せること**

誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく固定できず事故や急制動の際に、お子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

## 05

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認して肩ベルトにお子さまの腕を通します。肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認して、肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにしてカチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。バックルボタンの下部に緑色のインジケータが表示されていることを確認してください。



## 警告

## 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトをねじらないようにすること

これらベルト類にねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

## ポイント！

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めずハーネスをさらにゆるめてからバックルを留めます。次に記載の肩ベルトの高さ調節をおこなうとさらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

## 06

肩ベルトの高さを確認、調節します。

肩ベルトの高さを高い位置に調節するとハーネスが締め付けられますので、この時点でハーネスが締め付けられている場合はさらにハーネスをゆるめてください。

参照 P32 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた



## every stage™ R129

後ろ向きモードで使用する場合、肩ベルトの高さをお子さまの肩の位置と同じ高さから少し下までの位置に調節します。お子さまの頭部を支えて優しく調節してください。



参照 P33-35 ▶ヘッドサポート（肩ベルト・肩ベルトガイド）の高さ調節

### ポイント！

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適切な高さになっているか使用毎に確認するようにしてください。

インファントインサートを調節した場合は肩ベルトの高さ調節が必要となります。またお子さまの成長に合わせて適宜調節してください。

### ⚠危険

#### 肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

### ⚠注意

#### やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまに負担がかからないように、やさしく、ゆっくりと操作してください。

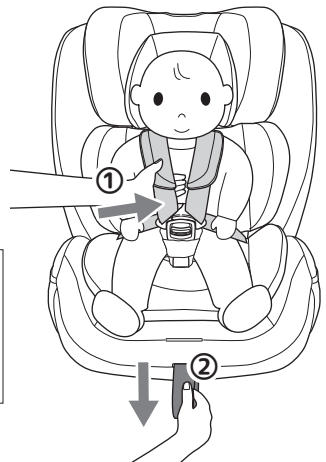
## 07

肩ベルトを適切な高さに調節したら、肩ベルトとお子さまの間に①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いてハーネスを締め付けます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間で挟まれるまで締め付けるようにします。

### ポイント！

締め付けすぎた場合はベルトアジャスターを使ってハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P31-32 ▶ハーネスの長さ調節



## ⚠危険

**アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること**

ハーネスが強く締めすぎるとおそれがありますのでアジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。

強くハーネスが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締め付けがゆるすぎると使用中にハーネスがお子さまから外れたり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。

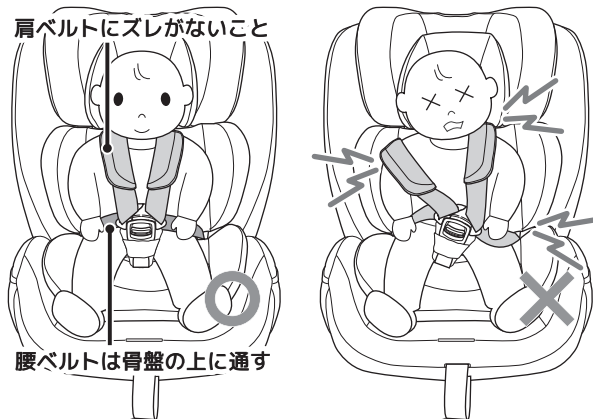
## 👉ポイント！

本製品使用中も適宜ハーネスにゆるみなどが無いことを確認するようにしてください。ゆるみがある場合は、07の操作を行いハーネスを締めてください。

## 08

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように必ず確認して正しくなるように調節してください。



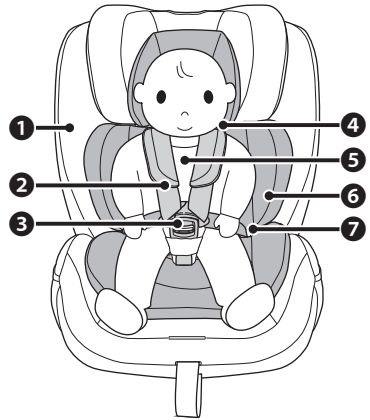
## ⚠危険

**ハーネスを正しい状態にすること**

肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通過していたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通過していると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず、ゆるみとねじれがなく正しい状態で装着して使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

## 09

以下のチェックリスト（7項目）を確認して、正しい状態になっていることを確認してください。  
正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



## チェックリスト

- ① 本製品が適切に後ろ向き取り付けで座席に固定されて必要な調節がなされていること。
- ② 肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること。  
肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがなくハーネスがしっかりと締め付けられていること。
- ③ バックルがしっかりと留まっていること。  
バックルボタン下に緑色のインジケーターが表示されていること。
- ④ 肩ベルトが適切な高さに調節されていること。
- ⑤ お子さまが正しい姿勢で座っていること。
- ⑥ インファントインサートが正しく取り付けられていること（生後6カ月頃まで体格が合う場合はすべてのインファントインサートを取り付けての使用を推奨します）。
- ⑦ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。

## 10

本製品の使用中も、お子さまがハーネスを正しく装着できていることを適宜確認してください。  
また、お子さまにはバックルを触らないよう言い聞かせてください。

## ⚠危険

## バックルが外れると大変に危険です

バックルはお子さまには外しにくいように操作が固めに設計されていますが、お子さまが成長すると自ら外してしまうおそれがあります。

本製品の使用中は、乗り降り時を除いてバックルに触れないよう、バックルを外さないよう普段から言い聞かせるようにしてください。



## 11

お子さまを降ろす際には、バックルを外してお子さまの腕を肩ベルトから抜いてゆっくりと降ろしてください。



警告

### お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合などに重大な事故につながるおそれがあります。お子さまが肩ベルトなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

## 前向きモードの乗せかた

### 👉ポイント！

以下の説明では、本製品を右ハンドル車の助手席後ろの座席（自動車の進行方向に向かって左側の後部座席）に設置する場合を図示しています。右側の後部座席に設置する場合、図示とは左右を逆にして操作してください。

## 01

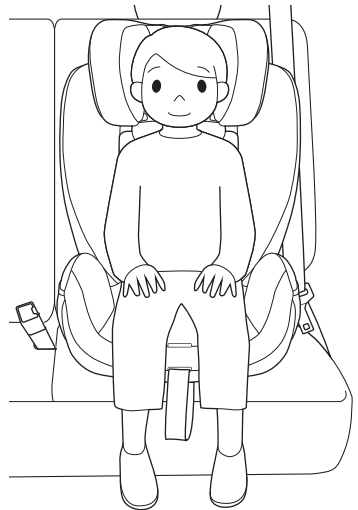
本製品を前向きにして自動車の座席に置きます。

調節、確認が必要です。以下を参照して操作してください。

参照 P60-61 ▶前向きモードでの使用▶設置

## 02

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてシートに座らせませます。腰を深くして、本製品の座面中央に座らせてください。



**ポイント！**

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



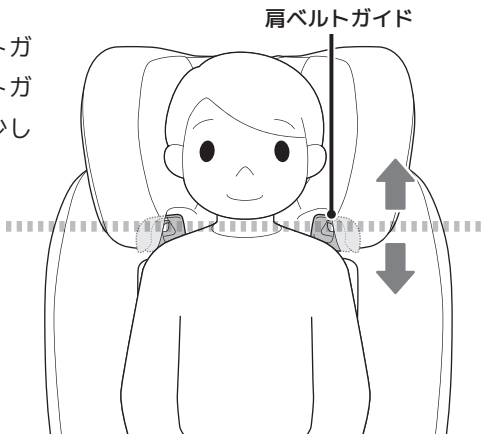
**03**

ヘッドサポートの高さを調節して、肩ベルトガイド（緑色）の高さを調節します。肩ベルトガイドがお子さまの肩の高さと同じかまたは少しだけ上の高さになるようにします。

**ポイント！**

シートベルトを装着してから、もう一度肩ベルトガイドの高さを確認します。

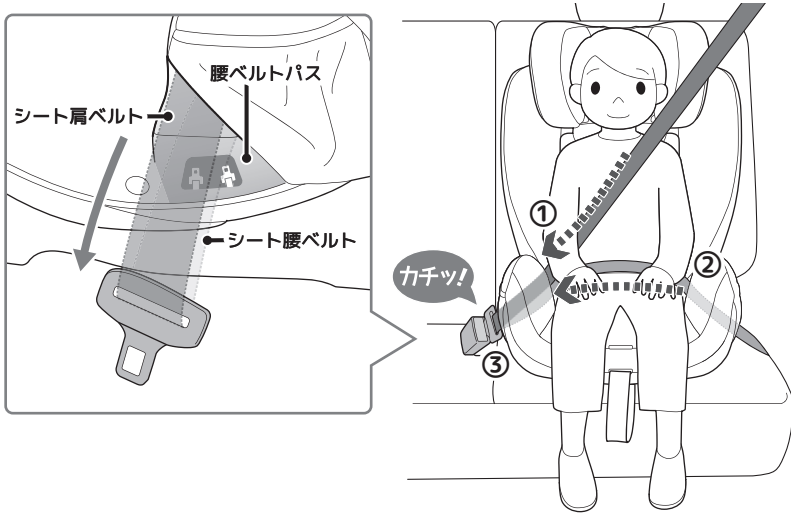
ヘッドサポートが座席のヘッドレストに干渉する場合は、ヘッドレストを調節または取り外してください。



参照 P33-35 ▶ヘッドサポート（肩ベルト・肩ベルトガイド）の高さ調節

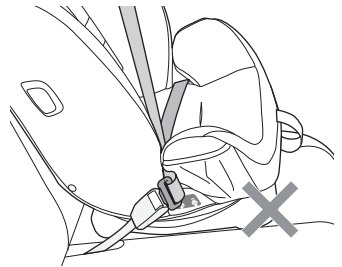
## 04

シートベルトをねじらないように注意して引き出して、①シートバックル側の腰ベルトパス（緑色の部分）にシート肩ベルトとシート腰ベルトを通し、②自動車のドア側の腰ベルトパスにシート腰ベルトを通して、③シートタングをシートバックルに差し込んで留めます。



## ⚠危険

シートバックルが干渉する座席では使用しないこと  
シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、腰ベルトパスにシートバックルが干渉する場合は正しくシートベルトを装着することができませんので、その座席では使用しないでください。

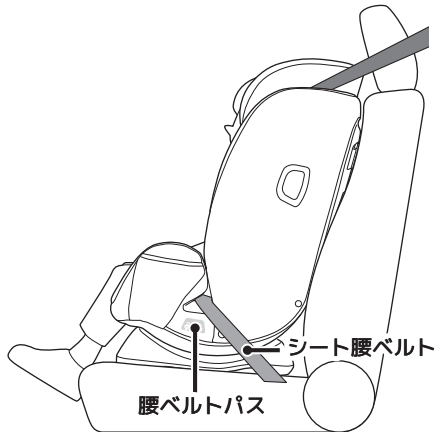


## 05

シートベルトにねじれがなく、下図のようにシート肩ベルト、シート腰ベルトが腰ベルトパスを通して確認してください。



シートバックル側から見た状態

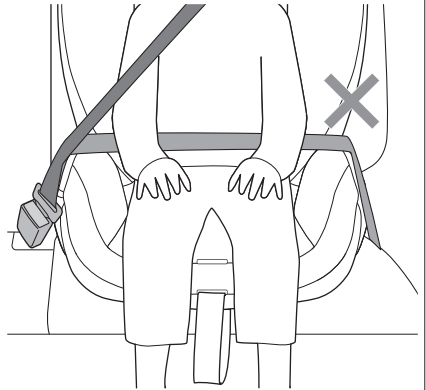


巻き取り装置側から見た状態

### ⚠️ 危険

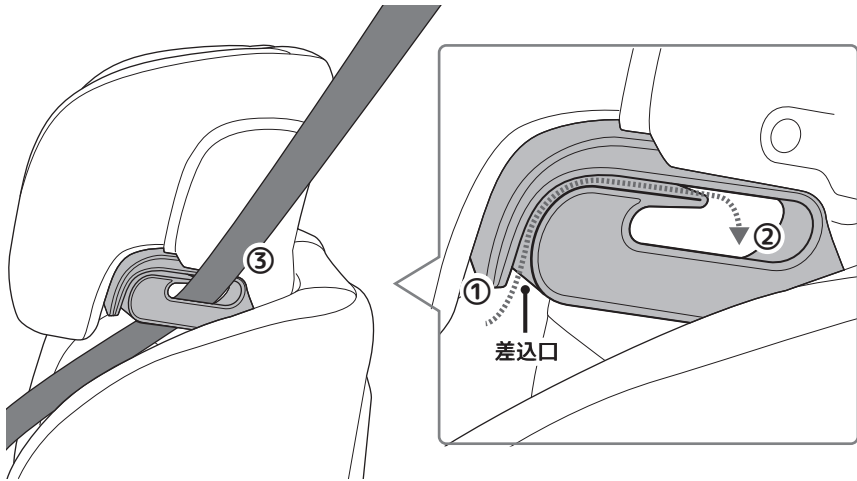
#### シートベルトを腰ベルトパスに通すこと

シート腰ベルトが左右の腰ベルトパスを通過していない、もしくはシート肩ベルトがシートバックル側の腰ベルトパスの部分を通っていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 06

シートベルトの巻き取り装置側の肩ベルトガイドに、シート肩ベルトを通します。肩ベルトガイドの下側の差込口から①シート肩ベルトを差し込み、②奥まで通して、③図のような状態にします。



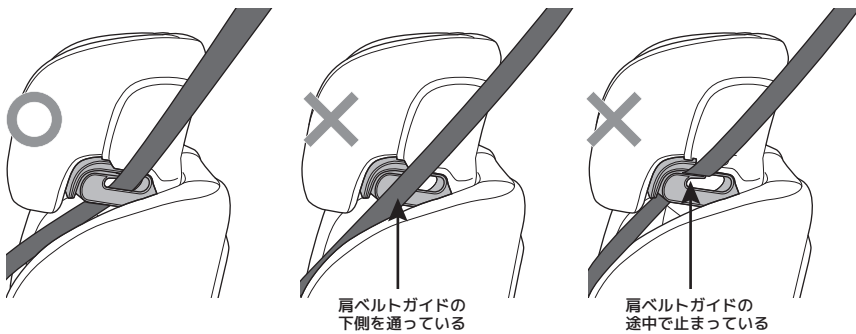
 **ポイント!**

肩ベルトガイドの高さ（ヘッドサポートの高さ）を調節して、シート肩ベルトの高さをお子さまの身長に併せて適切な状態にします。

 **危険**

**シート肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと**

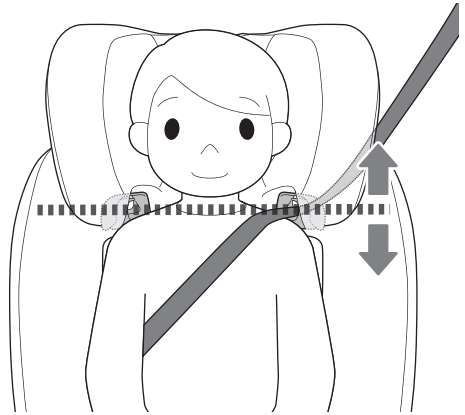
事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。シート肩ベルトを肩ベルトガイドの下側を通したり、奥まで通さずに使用しないでください。シート肩ベルトは、肩ベルトガイド以外の場所を通さないでください。





07

シート肩ベルトの高さが適切になっているか確認します。肩ベルトガイドがお子さまの肩と水平、または少しだけ上になる位置に調節してください。高すぎたり、低すぎたりする場合は、ヘッドレストの高さを調節して適切な高さに調節します。

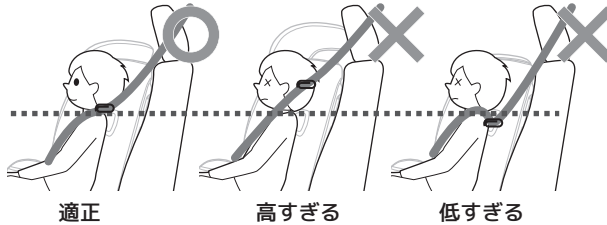


参照 P33-35 ▶ヘッドサポート（肩ベルト・肩ベルトガイド）の高さ調節

⚠危険

肩ベルトガイドの高さを適切に調節すること

肩ベルトガイドは、お子さまの肩と同じ適切な高さに調節します。肩ベルトガイドが高すぎたり、低すぎたりするとシートベルトが絡まったり、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



08

シート肩ベルトが、正しい位置を通るようにしてください。正しい位置より外側、内側を通っている場合は、本製品の左右の位置やお子さまの座る位置を確認して正しい位置にします。シート肩ベルトは、正しい高さかつ正しい位置を通るようにしてください。



**⚠危険****シート肩ベルトは、正しい位置を通すこと**

シート肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際にシート肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまがシート肩ベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。

シート肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ヘッドサポートの高さの調節や、お子さまの着座位置や本製品の位置を左右に微調整するなどしてシート肩ベルトが正常な高さ、正常な位置になるようにして使用してください。

**シート肩ベルトを正しく使用すること**

シート肩ベルトをゆるめたり、脇の下を通したりしないこと。

シート肩ベルトをお子さまの背中側にして（背中側に回して）使用しないこと。

**シート腰ベルトだけで使用しないこと**

シート肩ベルト、シート腰ベルトの両方を正しく使用してください。シート肩ベルトをシェルの裏側に回したり、左右両方の腰ベルトパスにシート肩ベルトを通すなどして、シート腰ベルトだけの状態にして使用してはいけません。

**お子さまを正しく座らせること**

お子さまが本製品のシェル内で前方にずれる（お尻を前にずらす）と、シート肩ベルトがお子さまの首にかかり、お子さまの首が締められるおそれがあります。またシート腰ベルトでお子さまの腹部が圧迫されて思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品使用中は、お子さまが正しい状態で座っているように注意して適宜状態を確認してください。

**⚠警告****シートベルト用の市販のアクセサリ類を取り付けないこと**

本製品に干渉し、安全に機能しなくなるおそれがありますので、シートベルトの長さを調節する器具やシートベルト用のパッド類などの市販のアクセサリ類を取り付けて使用しないでください。

## 09

①シート腰ベルトの位置を調節してお子さまの骨盤の上を通るようにします。②シート肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。

**警告**

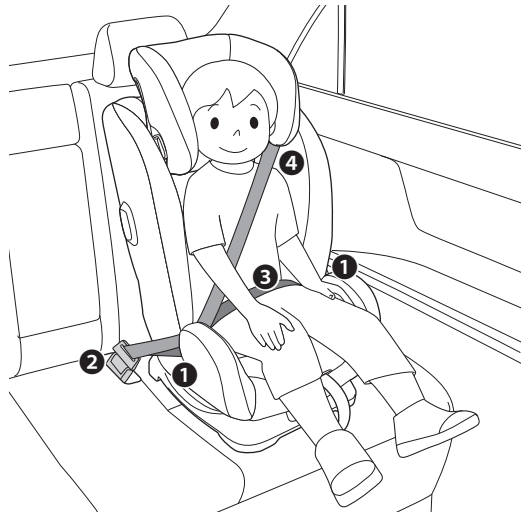
**シート腰ベルトは骨盤の上を通すこと**  
事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、シート腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷や骨折にいたる危険性が高まります。



## 10

以下のチェックリスト（4項目）を確認して、正しい状態になっていることを確認してください。

正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



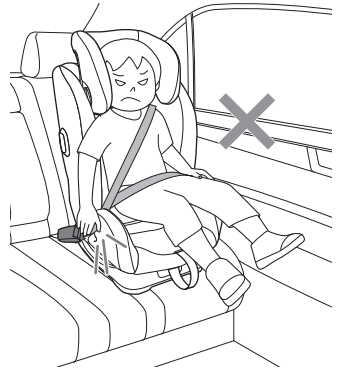
**チェックリスト**

- ① シートバックル側の腰ベルトパスにシート腰ベルトが通り、腰ベルトパスの部分にシート肩ベルトが通っていること。  
シートベルトの巻き取り装置側の腰ベルトパスにシート腰ベルトが通っていること。
- ② シートバックルにシートタングが確実に留まっていること。
- ③ シート腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。  
シート腰ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ④ シート肩ベルトが正しく肩ベルトガイドを通りかつ高さが適切になっていること。  
シート肩ベルトの位置（左右）が適切な状態に調節されていること。  
シート肩ベルトにねじれ、たるみがないこと。

## 11

シートバックルに手を触れないようお子さまに言い聞かせてご使用ください。

お子さまがシートバックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。



 警告

**シートベルトは常に正しい状態で使用すること**

お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくよう言い聞かせて、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。

 ポイント！

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の方の監視のもとで乗り降りさせるようにして、本製品の操作は大人の方が行ってください。

## 12

お子さまを降ろす場合は、シートベルトのバックルを外してお子さまを降ろしてください。前向きモード（ブースターシート）の場合、本製品はお子さまが乗っていない状態では自動車の座席に固定されません。

お子さまを降ろしたら、本製品を車外に出すか適切に固定するなどしておいてください。

## お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためにカバー類、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外すことができます。

後ろ向きモードの場合は、肩ベルトパッドと股ベルトパッドを忘れずに取り付けてください。前向きモードの場合、股ベルトパッドは取り外した状態で使用しますのでお子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください（肩ベルトパッドは肩ベルトに取り付けた状態で肩ベルトコンパートメントに収納します）。

### ⚠警告

#### カバー類や肩ベルトパッド、股ベルトパッド、その他の部品を外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない限り部品を取り外して使用しないでください。カバー類、肩ベルトパッド、股ベルトパッド、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので決して取り外して使用しないでください。また同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので決してはがさないでください。



カバー類を外した状態の本製品はお子さまの手の届かない場所で保管すること。カバー類を取り外すとシェルの内部機構が見える状態になります。内部機構でお子さまがケガをするおそれがありますので、お手入れの間はお子さまの手の届かない場所で保管してください。

ハーネスの機構やその他の機構に手を加えたり触らないようにしてください。また内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、カバー類を取り外したシェルには毛布を被せるなどしておいてください。

## インファントインサート、パッド類、カバー類の取り外し

### ⚠注意

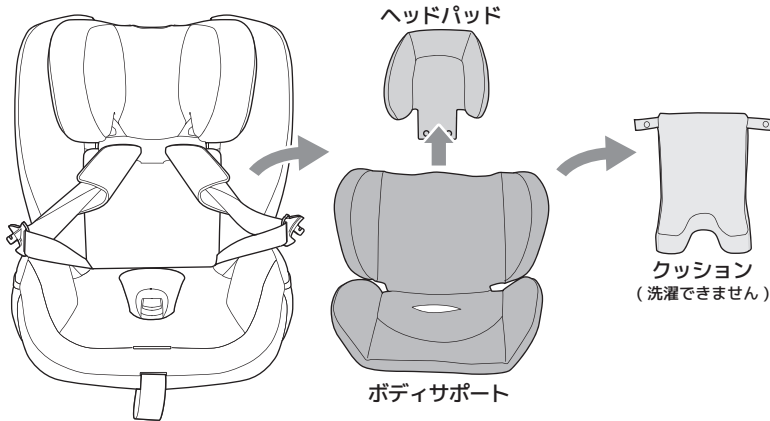
#### 慎重に作業してください

パッド類、カバー類、インファントインサートの取り外し、取り付けに際して引っかかった感じがする場合は無理をせず引っかかった場所がないか確認するようにしてください。ヘッドサポートおよびシェルの内側に取り付けられている、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。

## インファントインサート

以下を参照して取り外します。クッションは洗濯できませんので、お手入れの際には取り外してください。

参照 P35-39 ▶インファントインサート



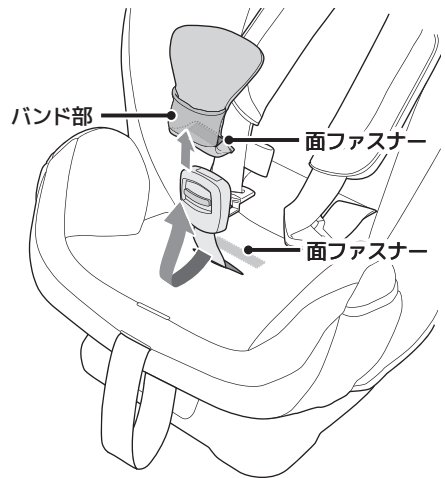
## 股ベルトパッド

### 01

シートカバーの受けバックルの通し穴で、背中側に折り返して留めてある面ファスナーを外して、バンド部から受けバックル（股ベルト）を抜いて股ベルトパッドを取り外します。

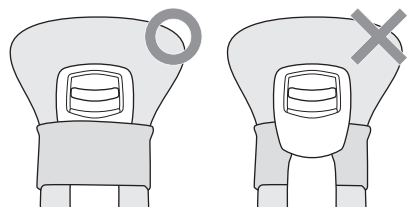
#### ポイント！

前向きモード使用している場合、股ベルトパッドは取り外されています。



### 警告

**股ベルトパッドを正しく取り付けること**  
股ベルトパッドのバンド部に股ベルト（受けバックル）を通して、シートカバーの裏側の面ファスナーで留めてください。



## 肩ベルトパッド

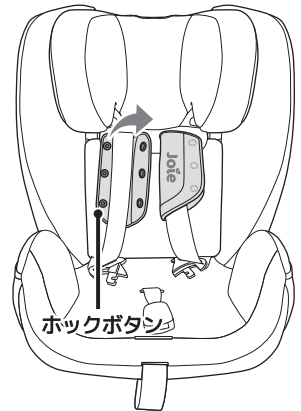
## ポイント！

前向きモードで使用している場合、肩ベルトパッドはシェル内部の肩ベルトコンパートメントに収納されています。肩ベルトコンパートメントから肩ベルトを取り出して操作してください。

参照 P54-59 ▶前向きモードでの使用▶準備

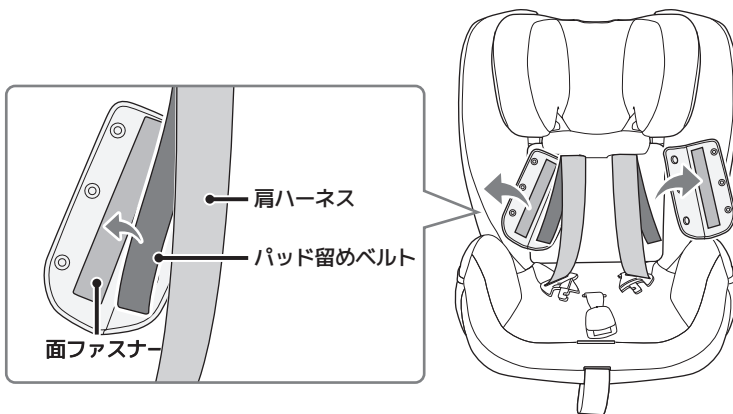
## 01

肩ベルトパッドのホックボタンを外して開きます。左右の肩ベルトパッドとも同じようにしてください。



## 02

肩ベルトパッドを留めている、パッド留めベルト（肩ベルトの下に重ねられています）の面ファスナーを外して肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにして取り外してください。

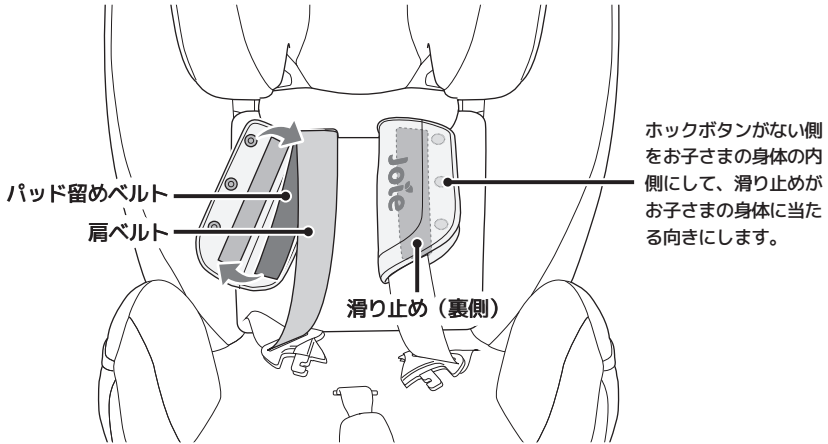


### 03

肩ベルトパッドの取り付けは逆の手順で行ってください。

肩ベルトパッドには左右があります。ホックボタンのない側をお子さまの身体の内側にし、滑り止めがお子さまの身体に当たる向きにします。

左右を確認して面ファスナーの位置を合わせて肩ベルトに重ねてある（下側）パッド留めベルトを留めてください。



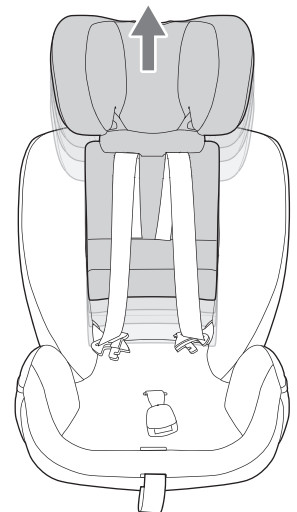
### ヘッドサポートカバー

#### 01

ハーネスをゆるめて、ヘッドサポートを最も高い位置に調節します。

参照 P32 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた

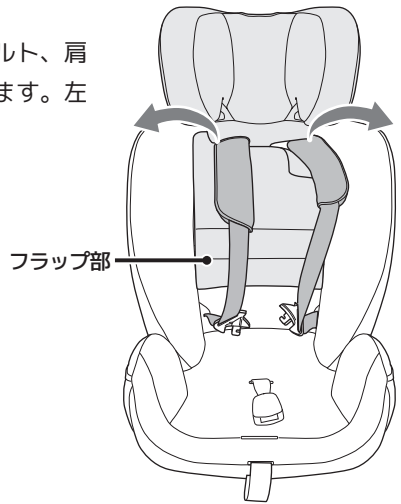
参照 P33-35 ▶ヘッドサポート（肩ベルト・肩ベルトガイド）の高さ調節





## 02

ヘッドサポートのフラップ部と上部の間隙から肩ベルト、肩ベルトパッドを抜いて外に出して裏側に回しておきます。左右とも同じようにしてください。



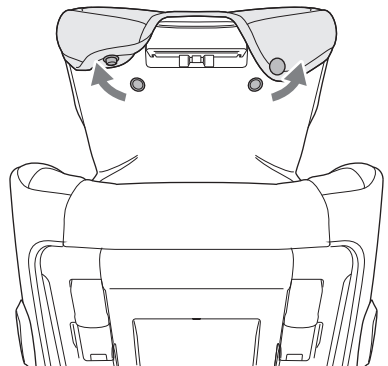
## 03

ヘッドサポートの上部背面、ヘッドサポートアジャスタレバーの横でヘッドサポートカバーを留めているホックボタン（2カ所）を外します。



**ポイント！**

ヘッドサポートを高い位置に調節しないとホックボタンは見えません。



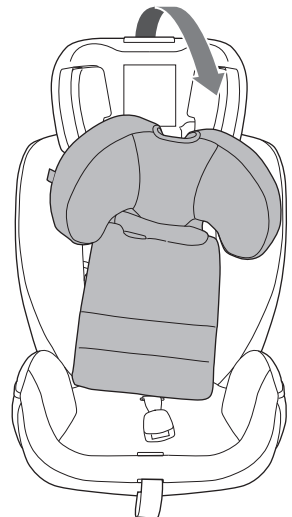
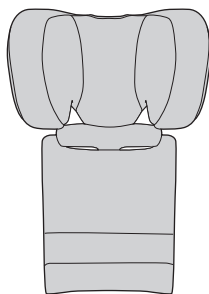
## 04

ヘッドサポートカバーを後方から前方にゆっくりとめくって取り外します。



**ポイント！**

ヘッドサポートカバー部とフラップ部は一体構造です。



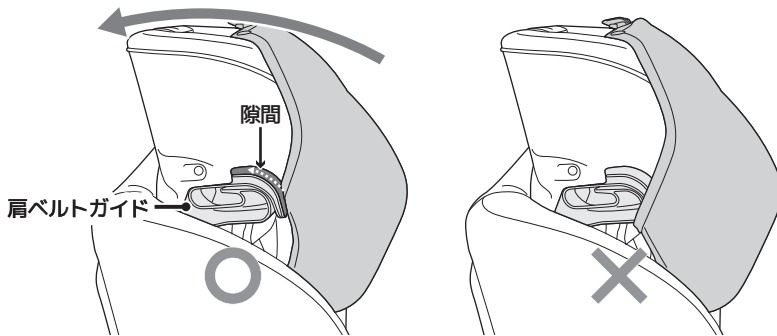


### 引っかかりに注意してください

ヘッドサポートカバーは慎重に取り外してください。引っかった感じがする場合は無理をせず、引っかった場所がないかを確認するようにしてください。肩ベルト、パッド留めベルトなどにカバーが引っかかっている可能性があります。無理に取り外そうとするとカバーが破損したり、ヘッドサポートに取り付けてある発泡ウレタン等の衝撃吸収材を傷つけるおそれがあります。

### ポイント！

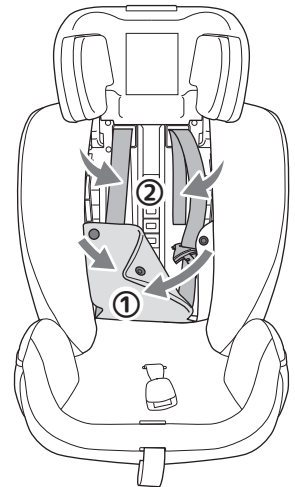
ヘッドサポートカバーを取り付ける際には、カバーが肩ベルトガイドを覆わないように、肩ベルトガイドの上部とヘッドサポートの隙間にカバーの縁を差し入れるようにして取り付けてください。



## シートカバー

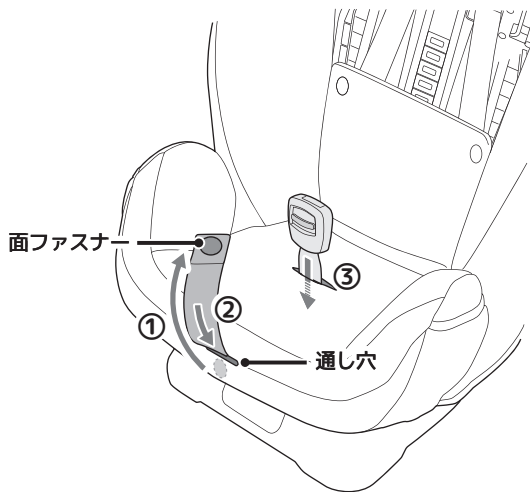
### 01

背もたれの上下中央あたりに留められている①左右のホックボタンを外して、②左右の肩ベルト、腰ベルトをシートカバーの裏側に回しておきます。左右とも同じようにしてください。



02

①シェルの足元側先端でシートカバーの裏側に留めてあるアジャスターベルトの面ファスナーを外して②シートカバーの通し穴から抜き取り、③受けバックル（股ベルト）を通し穴から抜き取ります。

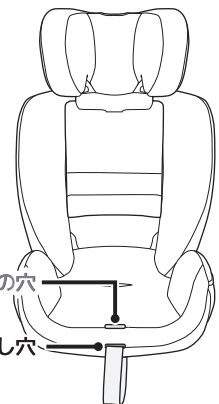


⚠ 注意

**通し穴を間違えないこと**

シートカバーの先端部には、ベルトアジャスター操作の穴とアジャスターベルトの通し穴があります。アジャスターベルトの通し穴は下にあります。アジャスターベルトをベルトアジャスター操作の穴に通さないようにしてください。

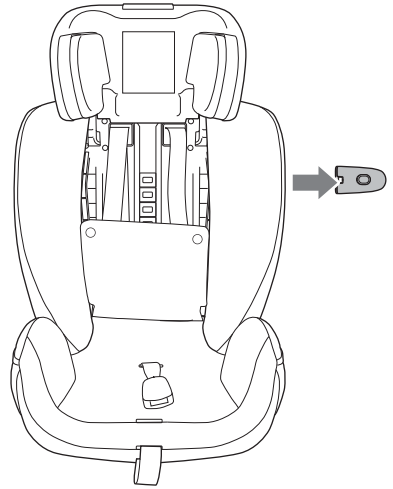
- ✕ ベルトアジャスター操作の穴
- アジャスターベルトの通し穴



### 03

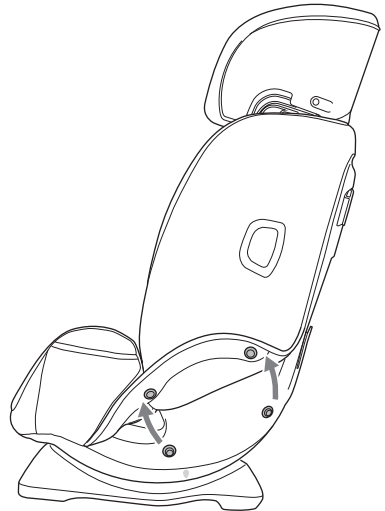
サイドインパクトプロテクションが取り付けられている場合は、取り外します。

参照 P44 ▶サイドインパクトプロテクション▶02



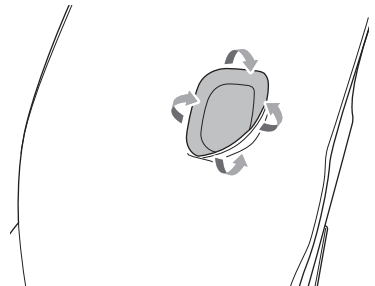
### 04

シェルの下部側面でシートカバーを留めている2カ所（左右合計4カ所）のホックボタンを外します。



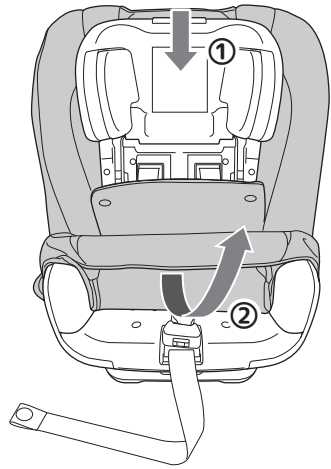
### 05

左右のサイドインパクトプロテクションスロットの縁に差し込まれているシートカバーの生地を抜き取ります。左右とも同じようにしてください。



06

①ヘッドサポートを下げ、②シートカバーの前端をめくってシェルから外します。



07

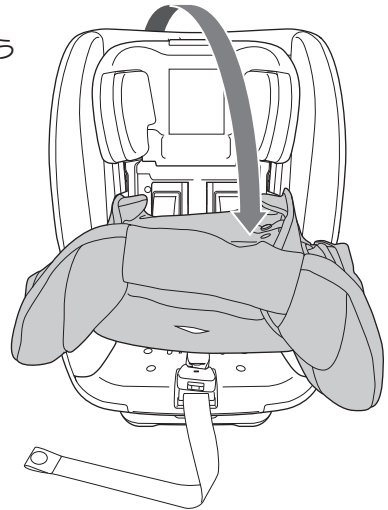
ヘッドサポートからシートカバーの開口部を抜くようにして、前方に向かって取り外します。

**⚠注意**

**衝撃吸収材に注意してください**

シートカバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。

本体に取り付けてある発泡ウレタン等の衝撃吸収材に傷をつけないように注意してください。



## インファントインサート、パッド類、カバー類の取り付け

パッド類、カバー類はそれぞれ取り外しの逆の手順で取り付けます。

使用するモード（後ろ向きモード、前向きモード）に応じて取り付けてください。

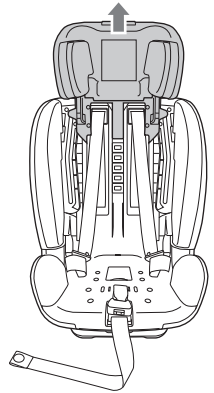
後ろ向きモードで使用する場合インファントインサートは、必要に応じて取り付け、調節してください。

参照 P12 ▶使用できるお子さまの条件▶インファントインサートの使用

参照 P35-39 ▶インファントインサート

### 👉ポイント！

シートカバーの取り付けの操作およびヘッドサポートカバーを取り付ける際はヘッドサポートを高い位置に調節してください。ヘッドサポートが低い状態ではシートカバー、ヘッドサポートカバーを取り付けることができません。



## 縫製品のお手入れ

### パッド類、カバー類、インファントインサート

取り外した、肩ベルトパッド、股ベルトパッド、シートカバー、ヘッドサポートカバー、インファントインサートは以下の表示に従ってお手入れしてください。

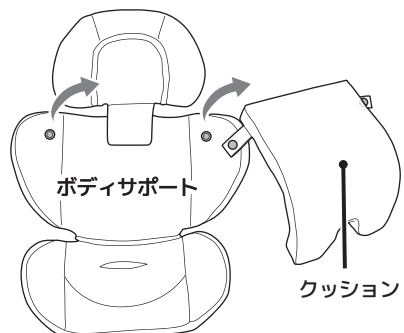
### ⚠️注意

#### 指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法で洗濯すると、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

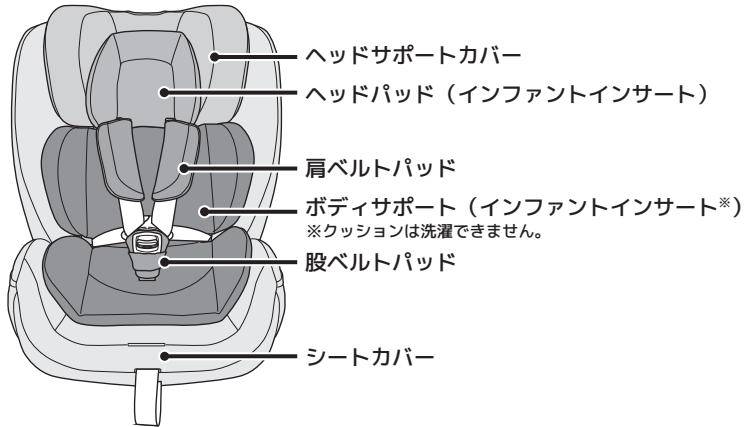
#### ボディサポートのクッションは洗濯できません

ソフトパッドのクッションは洗濯前に取り外してください。変形、変質するおそれがありますので、お手入れする場合は水に浸さずにブラシで汚れを落とすか、水に浸しよく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。



## 01

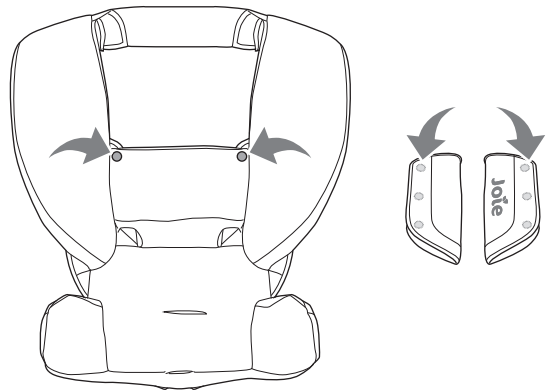
下図に示すパッド類、カバー類、インファントインサートが洗濯可能です。



## 02

固定可能なホックボタンは留めて洗濯してください。

- 肩ベルトパッドのホックボタン
- シートカバーのホックボタン



## 03

30℃以下の水で洗濯できます。

軽く絞って、形を整え、陰干してください。

よく乾かしてから取り付けしてください。

洗濯機を使用する場合は洗濯ネットに入れてください。シートカバー、股ベルトパッドは面ファスナーで他のものをキズつけるおそれがありますので、他のものと分けて洗濯ネットに入れてください。

### 👉ポイント!

汚れがひどい場合には薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合は真水でよくすすぎ洗剤を完全に落としてください。

**⚠ 注意****アイロンは使用しないでください**

破損、縮みの原因となります。

**タンブラー乾燥はしないでください**

破損、縮みの原因となります。乾燥機は使用しないでください。

**漂白剤は使用できません**

劣化を早め、変退色の原因となります。

**ドライクリーニングしないでください**

劣化を早め、変退色の原因となります。商業クリーニングはお避け下さい。

**有機溶剤を使用しないでください**

ガソリン、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。

**きつく絞らないでください**

型崩れ、変形、シワの原因となります。

## シエル、ベースのお手入れ

**⚠ 危険****潤滑剤、有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないこと**

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤、ガソリンなどの有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないでください。これらが付着すると本製品を変質、破損させたり本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。特にヘッドサポートおよびシエルの内側、クッションに取り付けてある、衝撃吸収材、ウレタン等は、有機溶剤に触れると溶解、変質するおそれがありますのでご注意ください。

**⚠ 警告****水を直接かけないでください**

サビが発生して本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。水分を使用してお手入れした場合はしっかりと乾燥させてください。



## 樹脂部分

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れがひどい場合には水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合はお手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

### ⚠️ 注意

**ウェットタオル（ウェットティッシュ）は使用しないでください**

市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは樹脂部分のお手入れに使用しないでください。

含まれる成分によっては樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

### 👉 ポイント！

除菌、消臭剤も含まれる成分によっては、樹脂やウレタン、衝撃吸収材に影響を与えるおそれがありますのでご注意ください。

## 金属部分

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。差込みタンク、受けバックルを除く金属部分に付着した食べかすなどの油分を含む汚れを落とす場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合はお手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

## ハーネス（ベルト類）

ハーネス、アジャスターベルトは取り外しできません。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

## バックル（受けバックル、差込みタンク）

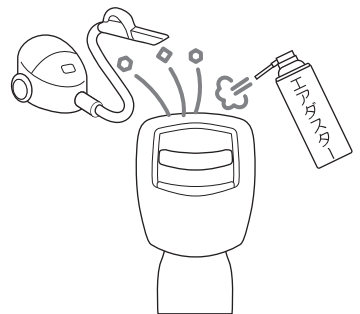
### 01

バックル類は取り外しできません。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

### 02

受けバックルの内側は市販のエアダスターを使用してゴミやほこりを吹き飛ばすか掃除機を使用して吸い取るようにしてください。



## 保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は自動車から取り外しておいてください。

---

ゴミやほこりがバックル内に入らないように保管時もバックルは留めておくようにしてください。

---

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

---

雨風のアたる場所や露天では保管しないでください。

## 廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、廃棄する自治体の指示に従って正しく廃棄するようにしてください。

また再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示した上でシートカバーを破るなどして再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

# 保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	Joie チャイルドシート <b>エプリステージR129</b>		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒 -	お買い上げ 販売店名	店名
	お名前		住所
	電話番号 - -		電話番号

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただけます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
  - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
  - ・お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合
  - ・本取扱説明書および製品本体に記載されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
  - ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製品のほつれの場合
  - ・部品の紛失の場合
- 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
  - ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
  - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
  - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
  - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
  - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
  - ・中古品の場合
  - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
  - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
- 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
- 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
- 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

## （本製品に関するお問い合わせ先）

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

## （Joie日本総代理店）

株式会社カトージ

〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

レシート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,  
Venture Point, Towers Business Park  
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ

**Joie™**

bring the kids™

Share the joy at [joiebaby.com](http://joiebaby.com)

0323RV0